

門番
號 135
卷

明治二十六年
十月廿一日

本國花萬葉記 卷第八

相模國 相州

相模國 相州

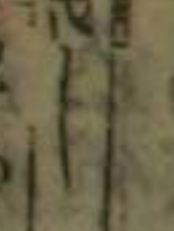
相模國 相州

相模國 相州

小田原寄城 江戸方二十里云々

久保村 貞守 忠朝 久盛

知乃 土方三子 内二方石
久保三年正月加洛
涉内宮松平下総中津
御三休屋敷西ノ内下
月 申辰夜雨さふ二申来日下洛上ノ海主



久保保隈政忠 坊
山内重松平下総中津

和し内下
三濁七ノ美

▲當浦城主大久保加加守先知任國次
 此古小倉長氏之臣大久保七子志世
 為出雲城主 四万五千石 同加加守忠季 系備
 忠常 一子 松平德強 忠隆之臣 吳波國加知
 為城主 五万石 ▲同日 元永十六年 德列昭石
 為城主 七万石 ▲同日 安二年 肥前國唐津
 為城主 八万三千石 ▲同日 出羽守忠利 加加守
 号 ▲同日 定寬六年 下総國作倉 加加守
 主方石 ▲同日 貞享二年 北河小田原 坂元為當浦
 城主 十方石

右御家系

藤原忠世 忠隣 相持 忠常 加加守 忠興 加加守 忠朝 加加守
 忠作 信秀 教澄 實佐 教勝 左京進 忠增 唐津
 忠勝 加加守 女子三人 教房 市刀
 忠教 加加守 溝口 十所室 中山 坊 由 教有 二所
 江川 坊 由 室

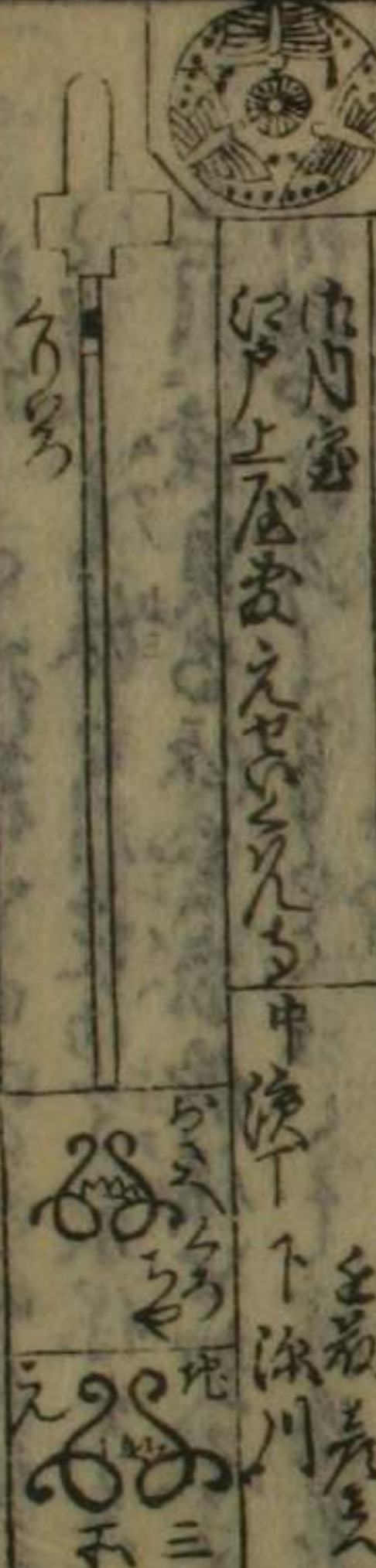
▲前沖城主代々之次

●北條長氏子孫代之居之 四万石
 ●大久保七郎右衛門忠世 四万石
 ●大久保相模守忠隣
 沖番城上成 ●近取石見守勤之
 後二城主 ●仍於彼中出次 五万石
 武列岩築所智
 沖番城下成 ●多木肥前守忠成 勤之 五万石
 後二城主 ●福家丹後守正勝 八万石

●福家美濃守三河 土万石
 但万石 宛文三三八 振傍 日万石 之宣八加傍
 ●福家丹後守山通 日高 父 宣五年
 鐵波 高田 所智 自 是 高田 城主

日圓玉繩之流

松平強心少將則總



松平主膳

報及五右衛門

青山左衛門

沖代官

日圓 是為沖代官 与力五端 同心廿人
 又人説 二平石
 成敷君長 三石 西山八石末
 江川六石末 山川二石末

相列神社之始

高尾八幡宮 延倉立 社於八百四十費

神主 大伴景吉 小別當

別當 莊嚴院 社傍十二坊

祭神 新編山城志云石清有以月

後清泉院乃西守保与当源頼朝

子之安徳頼朝之信成乃时册封の旨

多とく康平六年八月遷小石清あり

細信之と瑞穂と由比の小立於下

と号す之後白川院中守永保元年

二月後奥守源義家後徳と加公又

小林のりうと多とくそ後清景

四年二源頼朝の義長とわつて盛東國

小石清の頼朝の頼朝の先徳倉小入

多の小林のりうと清景の義家とわつて

下ありとて小石清の七月八日

初より八月十五日小遷定又建久三年三月

東遷ありとて今た右二二梅田

幼信のりうと今た右二二梅田

依信のりうと今た右二二梅田

右の方 武門神社 社傍乃見社を

天文九年二小系氏徳再興之社壇あり

下着宮八幡宮 右二源頼朝義長とわつて

比乃小石清の頼朝の頼朝の先徳倉小入

小林のりうと清景の義家とわつて

と号し又建久二年小系ありとの

小別當とて八幡宮を幼信のりうと

乃高尾とてす

高尾神社 一宮村 高尾殿小立 社於 百石

林神八幡と同 別當眞去 安承吉

高尾乃一宮 社隣眞鏡千一年十

月十九日渡四位上 国史 一宮記

二宮 社於五十石 林主た門

三宮 社於十石

四宮 社於十石

五宮 社於十三石 社主 岩守

六所 社於十石 別當眞 徳勝院

七所 社於十石 別當眞 徳勝院

八幡宮 社於十石 別當眞 徳勝院

菟橋天社 社於十九費三百文

後云高尾院長字元年二月廿二日建立

高尾道徳院 建立と云 社於十石

素政社
隆奈立神具宮と号す所奈

檀又御素政の具神と隆奈持樂
切齊(一)から在す乃山乃隆あり
三乃隆乃松板友の脇あり今の世
服疾と恙つゝまは社不れ効る
其外明動未現奇瑞のその来隆載り

杜戸の神
隆奈立神乃浦と海中へ六十乃
程一乃知らる松檀等乃古木あり
之浦乃系に隆全次めおらる
其物類くまを隆乃編有一座并小
二位厄也乃而隆書ま隆并未考

隆奈の神
奈前大隆冠隆長と号す
大隆冠隆乃指くふの隆乃時
由并心い常し隆乃隆乃隆乃小
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃大倉
乃松景小隆乃乃隆乃隆乃隆乃

隆戸の神
隆奈立神乃
隆乃首隆奈少く隆奈の隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃

白銀の神
隆奈立神乃隆奈の隆乃隆乃隆乃
隆乃首隆奈少く隆奈の隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃

長柄の神
隆奈立神乃隆奈の隆乃隆乃隆乃
隆乃首隆奈少く隆奈の隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃

隆奈の神
隆奈立神乃隆奈の隆乃隆乃隆乃
隆乃首隆奈少く隆奈の隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃

并天
隆奈立神乃隆奈の隆乃隆乃隆乃
隆乃首隆奈少く隆奈の隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃

隆奈の神
隆奈立神乃隆奈の隆乃隆乃隆乃
隆乃首隆奈少く隆奈の隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃

隆奈の神
隆奈立神乃隆奈の隆乃隆乃隆乃
隆乃首隆奈少く隆奈の隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃

巨福山建長寺
隆奈立神乃隆奈の隆乃隆乃隆乃
隆乃首隆奈少く隆奈の隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃

隆奈の神
隆奈立神乃隆奈の隆乃隆乃隆乃
隆乃首隆奈少く隆奈の隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃

隆奈の神
隆奈立神乃隆奈の隆乃隆乃隆乃
隆乃首隆奈少く隆奈の隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃
乃乃隆乃隆乃乃乃隆乃隆乃

二年將軍親家公建之開山崇西禪師

金峯山淨智寺 日所 慈山院父承

六年建開山三念宗公收釣の坂也

福教山淨妙寺 日所 後醍醐院公加

元年三田祖月峯寺然生榮中子

右又ヶ寺と強合乃又山と付

光明寺 日所 古从口費八百文

勝長寺院 日所 後多利院文

治元年十月建立之釈乃志願之

而乃此堂と名く本号丈六の鉢

位乃像實の乃此と云々

長壽寺 日所 後光嚴院也

文中中三多氏乃乃小建立

寶戒寺 日所 源号氏建立

小榮高時城二并後追善の乃創

寶光寺 日所 後守及院也

安七年小条時宗建立之と云々

又大号堂 日所 吹漣院也

久元年十二月實の云是之 中運也

長壽寺 日所 本号十一西

觀音坂東口を乃札所也

觀音之坂東中一處乃札所也

光の寺 天照山 淨土檀林強合寺从十黄奴

後守及院也守國基紀主上人

永福寺 日所 後多利院也

久九年原創依實の云の中創也

大慈寺 日所 吹漣院也

曆二年四月實の云建立之と云々

最明寺 日所 慈山院也

年中三建立年時釈中教と云々

善勝寺 日所 本号五石

日所 古从廿八石

長慶寺 日所 古从九費百文

日所 古从十二費文

極樂寺 日所 古从九費百文

後深原院正喜年中三建立年長

時中在死守父實時修之用也

早雲寺 日所 後柏原院也

凶年中小榮早雲三氏能三氏

康四代氏凶五氏連各其院也

是山田原小榮五代と云修勢也

長勝寺 日所 後多利院也

守之建立開山佛院國師

末慶寺 法雲比丘尼所 日下 古殿百廿石

妙立寺 法雲 延倉 常栄寺 法雲 延倉

長松寺 日宗 日下 大法寺 日宗 日下

大梅寺 日宗 日下 大相寺 日宗 日下

法照寺 日宗 日下 慶雲寺 日宗 日下

中光寺 日宗 日下 大乃寺 日宗 日下

清光寺 日宗 日下 明中寺 日宗 日下

妙法寺 日宗 延倉 高福寺 日宗 延倉

東運寺 日宗 延倉 九和寺 日宗 日下

京春寺 日宗 日下 高足寺 日宗 日下

法心院 日宗 日下 月性院 日宗 日下

慈眼院 日宗 日下 光善寺 日宗 延倉

方松寺 日宗 日下 普照寺 日宗 延倉

系王寺 日宗 延倉 長福寺 日宗 日下

松中寺 天台 延倉 大山不動明王 社殿二百石

大山不動明王 社殿二百石 親善前立

別當八大坊 石尊神社奥院立 延倉

莊嚴院 日宗 延倉 出口立 日宗 延倉

光福寺 日宗 吉沢立 日宗 延倉

松光寺 日宗 延倉 玉繩立 日宗 延倉

天竺寺 日宗 吉沢立 日宗 延倉

無量光院 時宗 高船村 古殿廿石

弘法寺 一向宗 手花村 古殿廿九石

大妙寺 法雲 中船 古殿六十石

中光寺 法雲 三浦 古殿十三石

大光寺 法雲 松尾 古殿百廿廿石

大光寺 法雲 岩波 古殿五十石

法照寺 日宗 延倉 古殿百石

高福寺 日宗 延倉 古殿百石

大佛 古殿百石

最勝寺 西殿小田原 曹洞宗在表

六月十六日大仏依古源頼朝公建立建

二年平時行徳友の阿山雨中く文而余

人おんをよむ

古殿百石

古殿百石

古殿百石

古殿百石

古殿百石

古殿百石

古殿百石

古殿百石

古殿百石

古殿百石

古殿百石

阿彌陀寺

常念佛也

湯ノ沢

湯ノ沢ノ水六町ノ奥ニ

新口寺

後倉ノ世日蓮宗也

妙傳寺

日蓮上人也

石瀨山

中ノ世也

妙頂寺

全田村也

法成寺

洞家也

法着寺

洞家也

千反寺

洞家也

法苑寺

洞家也

永林寺

洞家也

長福寺

洞家也

親善院

天台也

法成寺

洞家也

法着寺

洞家也

千反寺

洞家也

坂東三十三所順礼親書

當國ニ在ル分

一番 強倉松が寺	十面	二番 三浦岩殿寺	十二面
三番 田代寺	千石	四番 長谷寺	十二面
五番 飯泉寺	十面	六番 飯山寺	十二面
七番 金剛寺	正親	八番 星合寺	正親

相州國中名所

是相山日冥 鞍馬山乃古ノ古ノ海
 乃方り今ノ鞍馬山ノ海乃とせり
 善利 鞍馬山ノ海 乃系松舟ノ山ノ海
 善利 鞍馬山ノ海 乃系松舟ノ山ノ海



相列鐵倉之圖

○相模屋下

乃村

乃村

光の寺

五山の流妙寺

果政塔

日蓮宗

乃村八幡宮

高野山

大谷大仏

不立山

甲山

立山

小谷

松

山

山

山

音

の

けりた 湯ありのつふひり水坂家
乃ふ泊山の陣実をそもれもまのり
あどのい候命らにぬりり日

八重山

若根山乃あつ山い 町名

若根山

修巨圓の山とて

いとひ山

若根山乃あつ山い

たりの山

若根山乃あつ山い

水嶽山

若根山乃あつ山い

月名山又月高

六日山

竹乃下乃

足根山乃あつ山い

強々し里

若根山乃あつ山い

入口七ヶ所皆若根山とて切とてしころあ

三浦乃里

若根山乃あつ山い

乃乃一の里

若根山乃あつ山い

乃乃一の里

若根山乃あつ山い

乃乃一の里

若根山乃あつ山い

乃乃一の里

若根山乃あつ山い

乃乃一の里

乃乃一の里

若根山乃あつ山い

乃乃一の里

若根山乃あつ山い

乃乃一の里

若根山乃あつ山い

乃乃一の里

若根山乃あつ山い

乃乃一の里

若根山乃あつ山い

乃乃一の里

若根山乃あつ山い

とづれりたに江と鴨が鴨とあり
△この△ありきたり△中橋とるが町
とく橋を△とある川の川舟橋し
赤上流の舟とありかろ是古へりか
三川こととあり

平塚と 大塚と廿六丁

町とつれおの藩とて山とるに
げん乃とるに松ありとて半三
△松越が原と十日後△山下△宿河原
おとく△とるに△大塚乃とるに
一屋敷乃松とて今小石とるに
△松乃とるに△松乃とるに
松乃十師小かて△とるに△松乃
松乃松乃とるに△松乃とるに

大塚と 小田原と四里

町とつれり小塚とて並木乃松とるに
とるに△松乃とるに△松乃とるに
小塚乃町とつれり小塚とて並木乃松とるに
一屋敷乃松とて今小石とるに
△松乃とるに△松乃とるに
松乃十師小かて△とるに△松乃
松乃松乃とるに△松乃とるに

小田原と 三里廿八丁

右方八里小田原とて合我場とて町と
岡小橋とて町とつれり小地松とるに
△松乃とるに△松乃とるに
△松乃とるに△松乃とるに
△松乃とるに△松乃とるに
△松乃とるに△松乃とるに
△松乃とるに△松乃とるに

よく細く云ふこれの... 是より云ふらば... 乃難而乃... 志ふ二子山... 乃方ふを... 地勢堂... 現まいた... 入にに...

箱根方

三橋五三三三世町

比高町... 小田原... 乃坊... 山中... あり... 三橋...

同國名物出所

茶野大根... 龍大根... 赤根... 海老... 小田原海産...

小田原足踏... 小田原外郎... 川村... 龍石... 右相模國以上

大日本東海道 後大相模

相模國 三列

下谷三... 畠... 舟... 船行高...

田方 那賀 加賀 比外 大橋 松ヶ崎

俣豆... 間... 那賀... 後代... 法社...

當國下田内番所御奉行 月心六諸



又弘市部
高林弥市部

知行千二百石
江戸屋敷表田八丁

日國御代官

父九味小左衛門 三言石 江川吉之丞 廿言石

三嶋大明神社

變後船三嶋宮三言石
社領八百世石

▲条社 一庵

大山祇命 一言記

弟世三代崇峻天皇乃由宇庚戌年小
出祝 政曆雜事記 ▲抄三百年皇國
我船三嶋神社 振澤玉澤下船三嶋社
伴与國越智船大山祇神社以三并
共三社也 亦社考 ▲又云伴豆三嶋
乃由社ハ伴与乃三嶋ハ振澤玉澤下
と多ク伴与身之實徳早徳と患くこれ
と行ハ能周法陣ヤて和奇と傳也

此佛像小大にありて木より成り 日上
社階 貞観九年七月廿七日 國史
治養四年十月 添船村田屋と云也 社考

箱根社

社領二百石

別當 本福寺合副院

▲条社 本社

表火出見寺也 社考

又的取社 白和勢王右衛門 方格
王及の宮人云々 ▲孝徳天皇天平

貞治年中 三島刻用 基後月上人
手義寺 寺の末の末より三より三より三より

▲条社 實地

宗近く右方友切丸 寺領 楯廿二尺寸

長深く右方 未測也 此所宗近方力中 社考

赤木く右方 長廿三尺 西切を以て
二尺寸 切小切あり 社考

何れ付あり 未測也 此所宗近方力中 社考

何れ付あり 未測也 此所宗近方力中 社考

▲条社 實地

長深く右方 未測也 此所宗近方力中 社考

何れ付あり 未測也 此所宗近方力中 社考

俣豆社

社領二百石

別當 本福寺合副院

為朝祠

大徳三三
竹下之南在坂田金河其祠云

同國法家併欄之記

芝深院 真言
般若院 真言
修徳寺 密宗

三徳別当 古伝世石
伊豆持別当 古伝世石
古伝世石

國清寺

上秋菅村 剎殿
高古弘法大師ノ中子高陵法師建云
後光嚴院慈安元年建

最勝寺

上宮村 古伝十七石
古伝十七石

普門院 日宗

新庄村 古伝十七石

國清寺 法宗

修徳 最勝 般若 普門 古伝十七石
古伝二十石

一寺 法宗

水原村 古伝二十石

同國名所古跡之記

新根山

古根國ニ古く後有
山以乃岐乃ハ東西ハおちく南小字

町ヨリハ此村ハ古く富貴ノ村
とらりて離れり其の古くは事蹟云

三浦

三浦乃稱乃西岸ノ此村
乃稱業ハ古くは此村ノ古くは事蹟云

三浦

乃稱業ハ古くは此村ノ古くは事蹟云
乃稱業ハ古くは此村ノ古くは事蹟云

倭豆乃村

倭豆乃村ハ古くは此村ノ古くは事蹟云
倭豆乃村ハ古くは此村ノ古くは事蹟云

古井乃村

古井乃村ハ古くは此村ノ古くは事蹟云
古井乃村ハ古くは此村ノ古くは事蹟云

仲乃小浦

仲乃小浦ハ古くは此村ノ古くは事蹟云
仲乃小浦ハ古くは此村ノ古くは事蹟云

三浦乃村

三浦乃村ハ古くは此村ノ古くは事蹟云
三浦乃村ハ古くは此村ノ古くは事蹟云

志柄城乃山

志柄城乃山ハ古くは此村ノ古くは事蹟云
志柄城乃山ハ古くは此村ノ古くは事蹟云

志柄城乃山

志柄城乃山ハ古くは此村ノ古くは事蹟云
志柄城乃山ハ古くは此村ノ古くは事蹟云

志柄城乃山

志柄城乃山ハ古くは此村ノ古くは事蹟云
志柄城乃山ハ古くは此村ノ古くは事蹟云

志柄城乃山

志柄城乃山ハ古くは此村ノ古くは事蹟云
志柄城乃山ハ古くは此村ノ古くは事蹟云

志柄城乃山

志柄城乃山ハ古くは此村ノ古くは事蹟云
志柄城乃山ハ古くは此村ノ古くは事蹟云

志柄城乃山

志柄城乃山ハ古くは此村ノ古くは事蹟云
志柄城乃山ハ古くは此村ノ古くは事蹟云

ゆらぎれ橋 高田乃内を不意らむす

倭臣ハ駿河由之勢ヲ東街道
ノ法倭臣國々

但し此又八國ありしむら反甲斐
乃及次と書置けられた甲列倭臣
河ノ内ハ小川ノ一玉と云ふ
性量小ありす故小甲列乃内
次ハ甲列小川ノ内ハ中ノ
駿河乃内ハ書つておれ

倭臣國ニ鴻分 駿河國治津一里半

三羽高左衛門乃内ハ此殿を不乃方ニ
此邦乃社を高乃出と云れ小々
て細川氏乃内ノ友乃岩れ上り
大ニ必極と云れ海と云倭臣國乃
と駿河乃内ハ是支國乃内
駿河乃内ハ此殿を不乃方ニ
牧猪乃内ノ登り乃今小高の中
小あり乃内ハ海と云れ全ク測
云川乃内ハ牧猪乃内ハ山王社
乃内ハ小川乃内ハ此殿を不乃方ニ
乃内ハ小川乃内ハ此殿を不乃方ニ

小川乃内ハ此殿を不乃方ニ
乃内ハ小川乃内ハ此殿を不乃方ニ
乃内ハ小川乃内ハ此殿を不乃方ニ
乃内ハ小川乃内ハ此殿を不乃方ニ
乃内ハ小川乃内ハ此殿を不乃方ニ

倭臣國中ハ出らるる

桶川酒 推茸 右倭臣國分

大日本東海道 十二ノ國ノ内

甲斐國 上斐郡南ハ二日余

山代府 山梨 代藏 臣麻 船取
知行高武格貳千石

府中御城 江戸ノ内ハ六里

當國ハ武田信勝ノ後天正十年

穴山梅雪川尻肥後守久八内守
 儀守御領國天正十八年少將
 秀勝秀次中加茂幸印与友人願
 城地未定

府中當御城主

甲府中納言細豐卿 正三位

小知行三拾五方石

御屋中

江戸川左邊明共谷

日中

日下

日

得回越前守

戸田長門守

小出云佐与

御城使

大膳估

大村与与与

紋以挾箱

馬

何も与与



前代御城主

淺野彈正少將長政

日 右京右史幸長

平岩主計次親吉

尾川清則所智

右兵衛督義直分 長十二年

之後御番城下成

之後又 駿河大納言忠長 四年代元

後領之 名并古作与成次 駿河五領公家

寛永九年以後御番城下成

右与願綱堂殿 二十五方石 寛文元年

是方當御城至三至元

同回 岩村當御城主 江戸占二十六里

秋元但馬守高朝

知行二万三千石

城内室屋及城中官格

江戸屋敷新ノ口

同下 徳川日下下

酒井長与

与山与与

御井与与

与与

与与

与与

与与

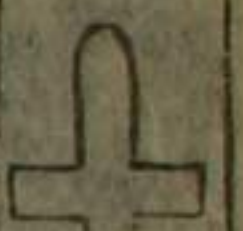
与与



秋元源之助

関口与与

再考



秋元七

秋元七

六日

馬



▲秋元但馬守喬朝一系

六日

馬

藤原泰朝

但馬守

富朝

越中守

喬朝

但馬守

某

源之助

七之助

▲當城前主代

●淡野彈正少源長政

●月 左京右史兼長

●香居云依守成次

●月 淡路守成行

月圓

とく兄の飲

江戸方三千里



保丹左京某

後回助



▲古系圖

源康勝

播磨守

勝長

播磨守

勝政

大隅守

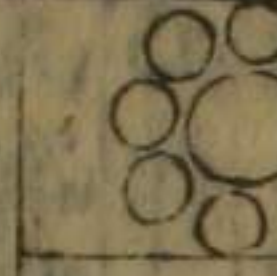
某

左京

甲州之内

大久保信守忠高

堀本



市内

大久保市十郎



日圓沖代官

甲州國中社

淡間大の社

▲榮社

富士権現

権譽天皇

ふいふ川と云ふは川より幾同石出る

後山寺 後山

後小松院正徳元年建立
船内ニ立

心法寺 後山

うへ原村

甲斐國中各所記

甲斐乃白根

ふいふ川と云ふは川より幾同石出る

小芝原

後山 船内ニ立

山梨

山梨乃白根

板野

白根小芝と徳り

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

かきうの川

右の川より、
平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

平計、
平計、
平計、

二百石 熱社殿 林之良月
百九拾二石 熱別當殿 林之村田島殿
百七十七石 福川殿 林之野口殿
百三石 後山殿 林之東橋村殿
八十石 同殿 林之築地式
五十一石 同殿 林之玄陽坊
二十拾六石 同殿 林之玄陽坊
同上

富士淺間中宮殿 八百六拾七石

二百五十石 大文司殿地方
百八拾六石 熱社入方
三百八十石 佐料系礼殿 未社在
同上 右寺社帳ニ此カ
三徳社 社殿卅五石 林之檀島
大蔵村 社殿十六石 林之吉久
大蔵村 社殿十石 林之傳方
同社 社殿十石 林之修理
八幡宮 社殿二百五石 林之
富士山社殿 百七十石 林之
同社 社殿廿八石 林之
同社 社殿卅二石 林之
同社 社殿十石 林之

淺間社
同社 社殿卅五石 林之檀島
同社 社殿十六石 林之吉久
同社 社殿十石 林之傳方
同社 社殿十石 林之修理
八幡宮 社殿二百五石 林之
富士山社殿 百七十石 林之
同社 社殿廿八石 林之
同社 社殿卅二石 林之
同社 社殿十石 林之
同社 社殿十石 別當眞流樂
三徳社 社殿卅五石 林之 右田民殿
按
安
天女
不
林
赤
有
五
人
く
上
と
を
去
ら
高

林之 三徳社 社殿卅五石 林之 右田民殿
按
安
天女
不
林
赤
有
五
人
く
上
と
を
去
ら
高

今に之を久松原小楹乃より方持示を
 以りまも神木なりとてかき搦之を保
 乃海邊の備所ありとてわりのわりの後
 燐ありとて松原の野に有りてとてこれ
 原の経系はくしつて小あや山とて大
 洋海ありと久松山とてくまびへ西に
 見実田子乃の苗をたふふる松林其繁
 を幾子万楹とてふらふす殆ど
 小わくす強小天女神のたを敷とる
 不ありとてをせり

明神
 白山権現
 高招権現

東照宮

沼津大明神
 越前山王権現

駿河國中寺院佛閣

久保寺

新瀧寺

蓮花寺

東泉院

六所別當

久野寺

大善院

法燈寺

花陽院

廣泰寺

大正寺

大樂寺

登教寺

三浦村 社殿廿五石 吉院無事方乃
 相契社 社殿廿石 社殿廿石 或男女
 社殿廿石 社殿廿石 正次
 久保三社 社殿三十石
 孝院 徳音院

久松山別當寺 社殿六十石
 社殿六十石 社殿六十石
 社殿六十石 社殿六十石

社殿四十石
 社殿二百石
 社殿二百石
 社殿二百石
 社殿二百石

社殿二百石
 社殿二百石
 社殿二百石
 社殿二百石

社殿二百石
 社殿二百石
 社殿二百石
 社殿二百石

社殿二百石
 社殿二百石
 社殿二百石
 社殿二百石

社殿二百石
 社殿二百石
 社殿二百石
 社殿二百石

法見寺 棟末 神保三 巨敷魚山ト号ス

高古の聖一國師之御子同聖法作
乃同基之高古此在ふまの十七名の橋
乃古木之石末之是より三保乃被末
カニヨリ

大石寺 法苑 富士麓上聖村 古伝 古寺古石

後醍醐天皇御宇開基日興上人也
日蓮上人之乃賣物也云々

本門寺 法苑 日所小山 古伝 古寺古石

日興上人隱居所ト云日蓮法親 日法上人等
日所西山 古伝 古石

本代上人開基 日所 古伝 世石等

妙蓮寺 法苑 日所 古伝 世石等

久遠寺 法苑 日所 古伝 古寺古石

日安上人開基 右富士ト云ケルト云
古伝 古寺古石

長老寺 法苑 又慶安寺ト云 古伝 古寺古石

長善寺 法苑 古伝 世石

強河玉中四徳之教

古伝 古寺古石

建暦年中鴨乃長崎強念ふ云々
時付高古云々

古伝 古寺古石

古伝 古寺古石

古伝 古寺古石

古伝 古寺古石

古伝 古寺古石

古伝 古寺古石

古伝 古寺古石

古伝 古寺古石

古伝 古寺古石

古伝 古寺古石

古伝 古寺古石

古伝 古寺古石

後醍醐天皇... 松原入海... 三保乃... 松原入海... 三保乃... 松原入海... 三保乃...

三保乃

三保乃

三保乃... 松原入海... 三保乃... 松原入海... 三保乃... 松原入海...

三保乃

三保乃

三保乃... 松原入海... 三保乃... 松原入海...

三保乃

三保乃

三保乃... 松原入海... 三保乃... 松原入海... 三保乃... 松原入海...

三保乃

三保乃

三保乃... 松原入海... 三保乃... 松原入海... 三保乃... 松原入海...

三國とてふとあり
三國とてふとあり
三國とてふとあり

三國とてふとあり
三國とてふとあり
三國とてふとあり

三國とてふとあり
三國とてふとあり
三國とてふとあり

三國とてふとあり
三國とてふとあり
三國とてふとあり

三國とてふとあり

三國とてふとあり

三國とてふとあり
三國とてふとあり
三國とてふとあり

三國とてふとあり

三國とてふとあり

三國とてふとあり
三國とてふとあり
三國とてふとあり

三國とてふとあり

三國とてふとあり

三國とてふとあり

三國とてふとあり

三國とてふとあり

三國とてふとあり

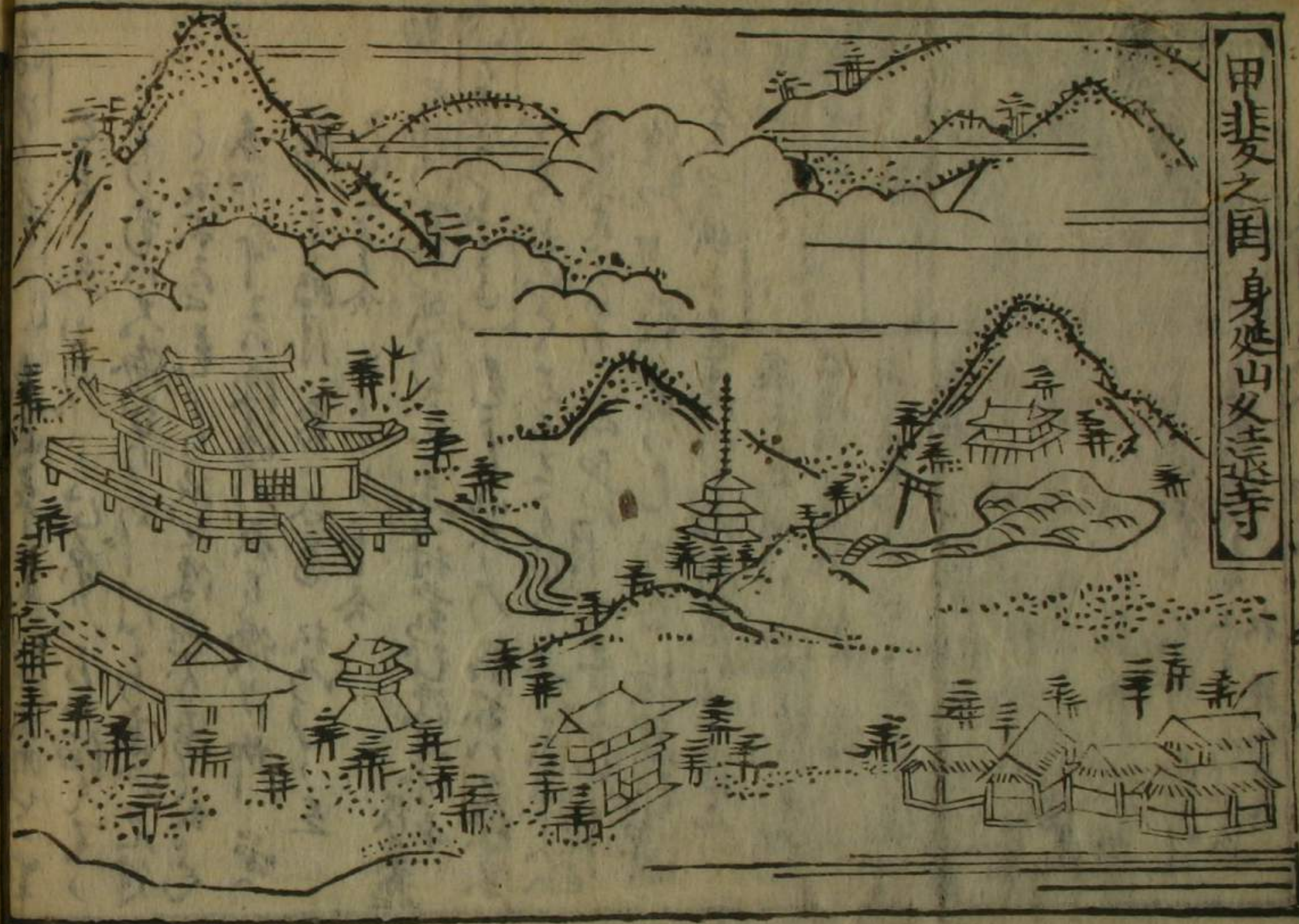
三國とてふとあり

三國とてふとあり

三國とてふとあり

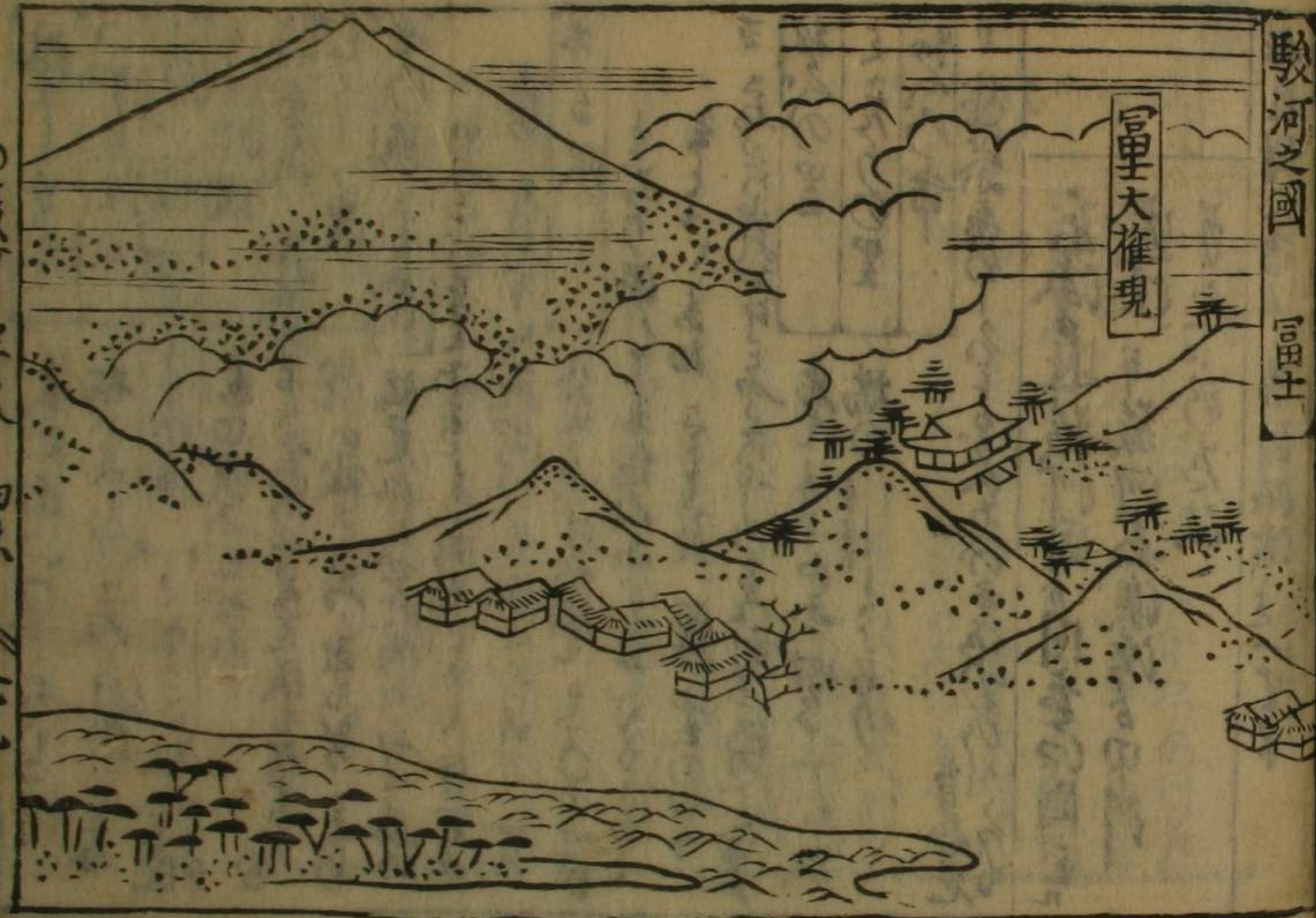
三國とてふとあり

甲斐之國身延山久遠寺



駿河之國 富士

富士大権現



○駿河之國 久遠寺 七九

はーま 素木原に江戸を

いわさね 松久寺の御所

うさね 寺の御所

ひーろく 仙光寺に世に

せの海 石巻海

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

ちる 寺の御所

倭豆田三徳の 南國沼津と一里半

右京次乃小倉所存豆田三徳と一里半

沼津の 原、一里半

沼津乃出之河まいたの方ニ子中松原同方

方ニ六代由前乃石橋わり六代ハ年乃推登

乃赤子たり年乃推登乃石橋河内市内

改ふとつれ已ふ推登とつれと名推乃

文字推登ふとつれ推登とつれとつれ

づり出さるる多のつれ生長乃後又む

けんまきとつれ終れ終れつれけ所せ

とつれ多のつれ石橋とつれつれつれ

△はとく 寺の町 松永町 沼津の原

△はとく 寺の町 松永町 沼津の原

△はとく 寺の町 松永町 沼津の原

△はとく 寺の町 松永町 沼津の原

△はとく 寺の町 松永町 沼津の原

△はとく 寺の町 松永町 沼津の原

源の 吉原 二里半

興國寺乃城石ふとつれ△後橋が原 石巻

△新田 けふとつれ幾乃とつれとつれ吉原

乃後よりつれ△え吉原 △相橋 △ふ

乃とつれ野とつれ吉原乃吉原△ふ

けるにとつれとつれとつれ一里の吉原

藤ふとつれとつれとつれとつれ

吉原の 神原 二里半

吉原乃出之河まいたの方ニ子中松原同方

沖津ノ 獅子原、四里、けり山乃若月寺
 獅子原ノ 方沢、四里、けり山乃若月寺
 百沢ノ 有敷、三里、けり山乃若月寺
 有敷ノ 有敷、三里、けり山乃若月寺
 有敷ノ 有敷、三里、けり山乃若月寺

町方ノ 獅子原、四里、けり山乃若月寺
 沖津ノ 獅子原、四里、けり山乃若月寺
 獅子原ノ 方沢、四里、けり山乃若月寺
 百沢ノ 有敷、三里、けり山乃若月寺
 有敷ノ 有敷、三里、けり山乃若月寺
 有敷ノ 有敷、三里、けり山乃若月寺

府中ノ 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 府中ノ 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 府中ノ 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 府中ノ 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 府中ノ 丸ノ 一里半、又鞠子と云

志豆ノ 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 志豆ノ 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 志豆ノ 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 志豆ノ 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 志豆ノ 丸ノ 一里半、又鞠子と云

丸ノ 一里半、又鞠子と云
 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 丸ノ 一里半、又鞠子と云

丸ノ 一里半、又鞠子と云
 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 丸ノ 一里半、又鞠子と云
 丸ノ 一里半、又鞠子と云

は下をせりてとく一踏より乃羅也
坂乃くぐり口も地産雲をいふり
晴あり

長坂 一里廿六町

かり宿の町 八幡村 八まんのみ右方
とろろ子町 一里 産物 産物 産物
枝はけ所ふせと乃條候とくらり
條乃りけいひけ西乃名物

長坂 一里 二里

海より右方 志が山と云ふ

徳田 一里 田中の城たき方なる

徳田 一里

比呂に大井川をわたり 流る 徳田
比乃さうい海乃中一里乃大いん
末乃名物産物乃ふふと云

徳田 中名物出所

紙子

紙子 徳田 一里 徳田 一里
徳田 一里 徳田 一里
徳田 一里 徳田 一里
徳田 一里 徳田 一里

紙子

紙子 徳田 一里 徳田 一里
徳田 一里 徳田 一里
徳田 一里 徳田 一里
徳田 一里 徳田 一里

右徳田 中名物出所

大日本東海道 十六ヶ国

遠江国

遠江国 上野 十ヶ国 徳田 一里
徳田 一里 徳田 一里
徳田 一里 徳田 一里
徳田 一里 徳田 一里

知行高武指八万石

近江 徳田 一里 徳田 一里
徳田 一里 徳田 一里
徳田 一里 徳田 一里
徳田 一里 徳田 一里

より多に故小近江と改む又志江旅を
 志淡海と書すは國大江あり希敷
 より遠小幸一故小幸江と名付凡去死

志州懸河當城也

江戸より五十五里十三

▲此城居井俣伯耆守武内母云安夜討る由伝

井俣兵助火補

松下原左衛門
 小曾守左衛門

兵約三万石

城内定掃討以志真娘

同中 鉄砲隊下芝多痛

茶次兵服所下安妻小川小南



志州家系江州兵報入道城皇同傷

志州神城也

石川日向守家成

天正十二年
 三萬石

山内對馬守一景

天正十二年
 三萬石

松平信政守定勝

天正十二年
 三萬石

河内守定行

同前
 三萬石

關系統及守宣正

同前
 三萬石

美山天彦忠實

同前
 三萬石

松平大膳忠重

同前
 三萬石

伊多信忠守忠家

同前
 三萬石

小原出羽守氏重

同前
 三萬石

井俣兵助火補

同前
 三萬石

日向横瀬和真當河城也

江戸より五十八里

西尾隱岐守忠成

急坂隱岐守
 志州守左衛門

知行三万石

此國守其母系志州
 知州守其母外三万石

同中 志州守其母



志州城也西尾隱岐守忠成

▲志州西尾丹波守忠永元和三年常列

▲同前七年佐列小治守志州城也同前

▲同前七年佐列小治守志州城也同前

△月夜後寺忠成 三万石 但子石石同好方 今石五城
出及同系列横土久 而久石石城三三万石

源忠政 豐後守 吉次 隱岐守 忠成 丹後守 忠照 丹後守

女子 忠成 直承大夫 備前撰律守室 忠知 主水

△右前沖城自之次也

大源太右衛門左衛門康高 三万石 天正十年 同吉 松平氏之場

上級之利 下級 及出羽守上号

● 渡津左衛門 依 三万石 天正八年

● 三万石 依 氏 三万石 及後城 出羽守 三万石 丹後守 三万石 同吉 松平氏之場

● 松平出羽守忠政 同吉

● 松平大隅守重勝 三万石 元和五年

● 丹後守重忠 同吉 元和五年 出羽守 三万石 同吉

● 井上重計 以三統 五万石 元和五年

● 河内守山利 四万石 元和五年 出羽守 三万石 同吉

● 常陸國 三万石 所給 五万石 元和五年

● 越前守利長 五万石 元和五年 出羽守 三万石 同吉

● 二千石 同井上兵庫以利朝記 新田氏 是當 出羽守 三万石

日圓 濱松高津城主 三万石 元和五年

青山下野守忠重 三万石

水内守 大藏少輔女 三万石 元和五年 全同竹石

同下 青山守 三万石 元和五年 右加茶之

△ 德島藩所 備前下 五受 吉田 德島藩所 備前下 五受 吉田

△ 美山院後守 忠義 三万石

△ 備前守 忠義 三万石 元和五年

△ 美山院後守 忠義 三万石 元和五年

△ 美山院後守 忠義 三万石 元和五年

△ 美山院後守 忠義 三万石 元和五年

△ 美山院後守 忠義 三万石 元和五年

右青山家系系出揚州尾崎城主日傍

▲當城先皇代々々々

御后誠

元龜二年 壬辰

● 堀尾常乃力吉晴

十一万石 天正八年依之

● 日 依法守忠臣

同高 其長五年 出雲松江所智法出雲守高 五万石 其長五年

● 松平定房元忠親

三万石 其長五年 常陸水戸所智法出雲守高 三万五千石 其長五年

● 水野對馬守重仲

三万石 其長五年 常陸水戸所智法出雲守高 三万五千石 其長五年

● 高力務藤守忠房

同高 其長五年 常陸水戸所智法出雲守高 三万五千石 其長五年

● 松平和泉守乘壽

三万六千石 其長五年 正保元上列三村所智 三万石 其長五年

● 志田依中守安宗

同高 其長五年 常陸水戸所智法出雲守高 三万五千石 其長五年

● 日 松原吉直

同高 其長五年 常陸水戸所智法出雲守高 三万五千石 其長五年

● 青山同備守宗俊

同高 其長五年 常陸水戸所智法出雲守高 三万五千石 其長五年

● 日 和泉守忠親

同高 其長五年 常陸水戸所智法出雲守高 三万五千石 其長五年

是乃當内城主三三

同國荒井御書乃

与力十二騎 同心四十人



成瀬藩右忠

天

佐野与八郎



近友徳五介

与力三十九百石 同心五十五名

同國市代官

美濃納本太夫

三万石 川本村

本長三万石

百俵 賀公村

本長川原太夫

三万石 賀公村

大原三万石

百俵 賀公村

市野越太夫

百石 市野村

山出太夫

百俵 中泉

遠列林社之敬

大原

專任社

同智教一宮村 社於五百石

林主

小國彈正

社於

於本氏於

同 右

主外社人社信

別當殿廿三石

天長村

蓮傍院

天正三年

源家原云亦再興

當國一宮村

祭神 大己貴命也 一宮記

社記云一宮小國神社也秋時天皇乃

小國乃一宮也其社於其後作也

其社於其後作也

其社於其後作也

其社於其後作也

全切也畢下多 攝社

奥后戸 王子宮 八満 日宮 外宮

八王子 真作子社 飯豆子 荒林

文徳天皇 公加得三年七月丙戌吉辰
國事任社 横濱六位下

横濱實社

横濱實社

一祭社三社 社家領色白身白廿三代

久武天皇 大寶元年五月乙酉所立

高松社 大市帳命 六山狐女也

小笠原社 素戔嗚尊也 横濱實社

熊野樟日命也 素戔嗚尊子 磐家

大社大社林

淡松 社三首石 林 森民社

依傍大社林

日景 社三首石 林 松浦宮内

同社

不入社 社十五石 林 寺八

同社

相月村 社十五石 林 作左馬

同社

梅田村 社十五石 林 冬左馬

同社

新井村 社十五石 林 小左馬

八幡宮

日坂 社十五石 林 冬高柳社

同社

年尾村 社十五石 林 冬高柳社

同社

中島村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

天王宮

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

同社

新井村 社十五石 林 冬高柳社

天神宮

同社

足行名社 社 卒石 社 別當 長福寺

同社

香川村 社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

社 鳴宮

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

下屋重村 社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

六所大明神

小橋村 社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

宇六所大明神

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

德田大明神

後田村 社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

淺間大明神

吉川村又 社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

吉原村 社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

推介大明神

後田村 社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

白根大明神

白根村 社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

白根奧大明神

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

麻橋大明神

七松村 社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

明社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

八王子

前野村 社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

溪松大明神

前野村 社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

西室夜宮

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

越社大明神

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

高根大明神

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

足根大明神

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

能修大明神

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

池ノ宮

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

白山権現

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

木原権現

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

山王権現

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

権現宮

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

同社

社 社 卒石 社 社 別當 長福寺

東照宮

別當

三列國中社系佛欄

三十一

鴨江寺 真言 溪松本寺就喜古辰二百五石

大勝寺 日宗 日所 古辰七十五石

龜嶺寺 日宗 日所 又兼實陸 古辰卅八石

何孫院寺 日宗 日所 又法福寺 古辰二百五石

法勝寺 日宗 市場村 古辰百廿石

西樂寺 日宗 村松村本寺善美院 古辰卅七石

油山寺 日宗 岩松村 古辰四十二石

岩氷寺 日宗 中沢 古辰四十七石

常樂寺 日宗 中沢 古辰四十七石

摩何形寺 日宗 大久保村 古辰四十二石

妙善城寺 真言 一ノ又丁子村 古辰卅石

蓮華寺 天台 大洲 古辰卅石

善門寺 天台 古辰卅七石

橋本坊 天台 古辰卅石

醫王寺 天台 久保村 古辰卅石

可隆寺 曹洞 久保村 古辰卅石

大洞禪院 曹洞 橋立橋國山 古辰卅石

石雲院 曹洞 坂口村 古辰卅石

光善寺 日宗 三股村 古辰卅石

善海寺 日宗 溪松 古辰卅石

慈法寺 日宗 白波堂 古辰卅石

光明寺 日宗 二股 古辰卅石

於水寺 日宗 赤伏 古辰卅石

秋葉寺 日宗 本寺銀香 古辰卅石

法寺三入坊 日宗 坂口村 古辰卅石

珍泉寺 日宗 坂田 古辰卅石

西法寺 日宗 弓谷山 古辰卅石

當古れ門お小地松とく石本の松と
法寺三入坊とく大天狗とく
坂田とく又坂田村古辰卅石
弓谷山古辰卅石

永仁院 日宗 鹿毛村 古辰卅石
長如寺 日宗 龜川 古辰卅石
長松院 日宗 眞聖 古辰卅石

法寺三入坊乃社とく
首月高圓川合と云ふ乃
乃城小松とく古辰卅石

金剛寺 日宗 溪松 古辰卅石
龍養寺 日宗 古辰卅石

法寺三入坊乃社とく
首月高圓川合と云ふ乃
乃城小松とく古辰卅石

法寺三入坊乃社とく
首月高圓川合と云ふ乃
乃城小松とく古辰卅石

法寺三入坊乃社とく
首月高圓川合と云ふ乃
乃城小松とく古辰卅石

法寺三入坊乃社とく
首月高圓川合と云ふ乃
乃城小松とく古辰卅石

法寺三入坊乃社とく
首月高圓川合と云ふ乃
乃城小松とく古辰卅石

龍泉寺 同宗 志坂又字長所 古辰世二石

常房寺 同宗 久保村 古辰

平田寺 上流 平田村 古辰五十九石

高慶寺 同宗 但方慶寺 古辰五十九石

松樂寺 同宗 松室流 古辰十八石

伏福寺 同宗 吉田村 古辰廿七石

寶珠寺 同宗 保良村又保吉村 古辰廿七石

其壽寺 同宗 古辰廿七石

西傳寺 上流 古辰九十六石

法慶寺 同宗 古辰八十七石

撰安寺 同宗 古辰五十九石

天然寺 同宗 金川 林光寺 同宗 市場

何孫院寺 同宗 成務村 古辰六十六石

教興寺 上流 淡松 又町字 古辰六十六石

妙立寺 同宗 新津 古辰六十八石

肖光寺 同宗 尾村三 古辰五十九石

心願寺 同宗 金川 古辰五十九石

心福寺 上流 上山梨 古辰五十九石

長樂寺 同宗 金川 古辰五十九石

二掃坊 上流 中村 古辰五十九石

地福院 同宗 淡松 古辰四十三石

龍心院 同宗 突坂 古辰四十三石

高師山 三河乃宿と白次相の所

山ノ山 山ノ海有り 赤木系也 花野 鹿

紅系 菅ノ山 蘇乃淡 文藝之

森多 山ノ山 山ノ山 山ノ山 山ノ山

塩の坂 白次相乃宿と白次相の所

松か 白次相乃宿と白次相の所

淡名乃橋 入海より山乃山 橋の所

新物事 山ノ山 山ノ山 山ノ山 山ノ山

入海 松原 山ノ山 山ノ山

天満川 淡松と足村乃宿との界
此大河之鴨井長鳴川と云ふなり

伴乃乃浦 足村宿と云ふ海に鳥松
流のふし松の尾も今の浦と云ふの里に松を云ふ

又乃乃浦 赤田と云ふ赤田小川
赤田と云ふ赤田小川

原川 原川と云ふ原川
原川と云ふ原川

魚川 魚川と云ふ魚川
魚川と云ふ魚川

釘乃浦 釘乃浦と云ふ釘乃浦
釘乃浦と云ふ釘乃浦

此乃乃浦 此乃乃浦と云ふ此乃乃浦
此乃乃浦と云ふ此乃乃浦

此乃乃浦 此乃乃浦と云ふ此乃乃浦
此乃乃浦と云ふ此乃乃浦

此乃乃浦 此乃乃浦と云ふ此乃乃浦
此乃乃浦と云ふ此乃乃浦

此乃乃浦 此乃乃浦と云ふ此乃乃浦
此乃乃浦と云ふ此乃乃浦

此乃乃浦 此乃乃浦と云ふ此乃乃浦
此乃乃浦と云ふ此乃乃浦

此乃乃浦 此乃乃浦と云ふ此乃乃浦
此乃乃浦と云ふ此乃乃浦

此乃乃浦 此乃乃浦と云ふ此乃乃浦
此乃乃浦と云ふ此乃乃浦

此乃乃浦 此乃乃浦と云ふ此乃乃浦
此乃乃浦と云ふ此乃乃浦

此乃乃浦 此乃乃浦と云ふ此乃乃浦
此乃乃浦と云ふ此乃乃浦

水野野村の八ヶ所美濃の石の敷も及び

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

名不 幸のあつ川に似て修り

せが川 名不 幸のあつ川に似て修り

と川 名不 幸のあつ川に似て修り

作取橋 名不 幸のあつ川に似て修り

と川 名不 幸のあつ川に似て修り

おが浦 名不 幸のあつ川に似て修り

白雲の露 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

あつ川 名不 幸のあつ川に似て修り

そとへはふりていそや今そくもそれ
権乃がまはりてはそく権乃枝と切
さうさ後ふらにわかれ権乃さうに
そくいそやふりてそくやん権乃
とらに込らそくそくは権乃そく
あふ殺害善法無乃大運とそんふら
徳川 一里廿九丁

新坂ヨリ

は下より解乃名地を名乃出られ
左方に参田八儀のましましは名地
乃あふ古木乃鴨脚を同方方り
男藤山女下ら山そくを山より
石穿け山とそく又左方小川のそ
うかひの井をそれりそく川
▲高谷町 ▲成徳村 是方け川に
徳川 二里十丁

徳川

右乃入口新町より出口十九首町と八町
かり左方ニ城あり ▲二徳川と云り十
町あり去橋あり ▲大池町 ▲藤田
は町にかりてははをふりて湯あり
たそこの大池のむらうは大池町
り出にかりて徳川にかり

▲細田村はそくそく海をより左方坂の
上は新若老そく池あり ▲原川橋を
向て小原川町と云れそくを城と云り村
左方小池あり

伏石井

見付へ一里半

町に河に橋あり長廿三丁 ▲河合村
左方ニ池あり左方ニ池あり ▲本原町左方に
徳聖堂あり乃社を ▲本橋町海乃
左方ニ岩井と云を所をい所少く源の
物ありと云人莫公是そくは付く
所をそく伝と云を名に常の死
居伝と云 ▲三ヶの橋長半七丁ニ町
乃と云を坂三丁余る ▲大久保村小坂

見付ヨリ

淡松、三里七丁

右乃右方坂乃上は二本松と云町
乃と云んそく切と素乃池あり
町乃右方ニ池あり乃池あり
一乃右方ニ橋ありと云乃乃中池
小書されおあそくそくは乃乃中池
東南小池ありと云不ふこれそく乃
乃びかり月乃そくそくそく乃
級山の景近肥乃乃の園と云

徳川 二里十丁

新坂藤餅
 小尾山鷹 菊川始 一月所支振
 右志列國分以上

大日本東海道 十八箇國ノ白

冬河國 冬列
 上段八級東西一日半山
 河多去と北段と一尺
 故三級不熟斷段一尺
 田較七千二百四十

奥飯府 磐海 賀茂 額田
 篠原 八倉 夜永 伊美

知行高三拾三方六子石

風去記云云國三ノ川を一ノ男川八ノ河
 上ニ山林を白髪山也 二ニ豊川八ノ
 川上ニ長志を三ノ民屋を鏡也故豊川
 と云り三ニ矢他川八ノ日本武志を
 冬河河志の云々矢と化ル故ニ冬河川

當國吉田當御城至

小笠原依波守長重
 知行五方六子石
 古畑勘解由
 前羽幸去
 百足方七子



但京教乃御所可代依波守長門並
 先和依任國ノ次々山城長重ノ記

當城先主代ノ次々

三河御代國ノ時

酒井右衛門尉忠次 永禄七年

同日 左衛門尉家次

池田三右衛門尉輝政 十五方石 天保十八年

松平玄蕃以家清 三方石 長文五年

同日 氏親右衛門尉忠清 同

松平直殿改忠利 二方石 長文七年分
 寛永九日西折屋不器
 四万又子石寛永九分
 四万又子石寛永九分
 四万又子石寛永九分

水野集八云忠清 同
 寛永十八年任列松中ノ所也

水野監物忠善 四万石 寛永十八年分
 同保三日山田高所也

小笠原左衛門尉忠光 四万石 同保二年分

同日 山城守長政 四万石 外三万石 同保
 守三子石 同保配分

同日 左衛門尉長政 同
 同子元福三子長政
 後子牙依波守長政

足分南城之望也

同國 尾高當沖城之



水野豊前守忠盛

知事 西乃石

同國 尾高 下野守 堀
江戸市尾高 堀上 堀切 堀
同下 小石川 同 源川
系 堀 堀所 新町 四條 上 八町

取江源氏
為 堀 堀上

久阿 堀
牛尾 堀

堀 堀上

不 堀



信 堀

▲當城之水野豊前守忠盛先知源氏國

▲水野女水野監物忠善寛永十二年没列
田中、為 堀 堀上 堀切 堀
三列古田、為 堀 堀上 堀切 堀
同 堀 堀上 堀切 堀
同 堀 堀上 堀切 堀
同 堀 堀上 堀切 堀

▲水野家系圖

源忠政

信元

忠義

忠元

忠善

忠重

勝成

勝重

勝貞

勝廣

忠清

忠胤

忠直

忠國
刑部

女子

松平和泉守室

忠春

豊前守

女子四人

丹羽式部少輔室
小出信濃守室

片桐毛膳正室
牧野遠江守室

▲當城先皇代之御代

御居城

三列 堀 堀上 堀切 堀

原 堀 堀上

●田中兵衛大納言忠政 (十方石 堀 堀上 堀切 堀)
堀 堀上 堀切 堀

●堀 堀上 堀切 堀

●同 伴勢守忠利 (五方石 堀 堀上 堀切 堀)
堀 堀上 堀切 堀

●水野監物忠善 (五方石 堀 堀上 堀切 堀)
堀 堀上 堀切 堀

●同 堀 堀上 堀切 堀

堀 堀上 堀切 堀

同國 西尾當沖城之

堀 堀上 堀切 堀



大井式部少輔利忠

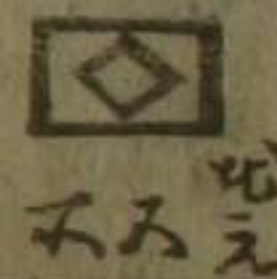
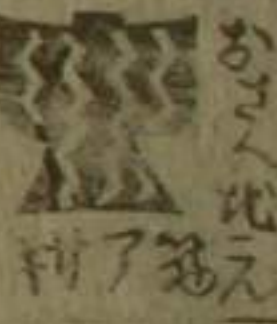
堀 堀上 堀切 堀

堀 堀上 堀切 堀



近内金井を以て名取
江戸尾を以て名取
田中 如三郎
日下 大塚白山守

源重綱



右系 堀肥前唐津有

▲當城主 金井武敏 武敏 補所 忠元 知信 忠元

▲金井大徳 利勝 二男 金井 金井 厚 利長

寛文二三年 三列西尾 為城主 二万三千石

同文 女捕利忠 利長 為城主 同文

▲當城主 佐々木 佐々木

●田中 兵部 大膳 吉政 持分 同 石 萬石

●本多 徳兵衛 康俊 石 萬石 元和三年 石 萬石

●松平 将監 成重 石 萬石 元和三年 石 萬石

●本多 徳兵衛 俊次 石 萬石 元和六年 石 萬石

●本多 徳兵衛 宗 石 萬石 元和九年 石 萬石

●井原 兵部 大膳 康之 石 萬石 元和二年 石 萬石

●沼山 兵部 大膳 山利 石 萬石 元和二年 石 萬石

●月 兵部 大膳 利須 石 萬石 常例 下板 下板

●金井 兵部 大膳 利長 石 萬石 元文三年 石 萬石

同 田中 兵部 大膳 主

石 萬石 元和三年 石 萬石

福恒 對馬守 重富

石 萬石 元和三年 石 萬石

知行 二万石



石 萬石 元和三年 石 萬石

右家系

石 萬石 元和三年 石 萬石

源重綱

石 萬石 元和三年 石 萬石

重祥

重種

重大

重助

重富

重富

重富

重富

▲當城主 佐々木 佐々木 補所 忠元 知信 忠元

▲當城主 佐々木 佐々木

●水野 氏 成 居

●水野 和 泉 守 忠重

●日 日向 守 勝成

●日 隼人 忠信

●松平 重 殿 忠房

●松平 重 忠 守 忠房

●福恒 橋 守 重隆

石 萬石 元和三年 石 萬石

● 同 侯法守種律

是乃為法城主之記

三方石 外之文在阿波 按子記

● 同 四原當冲城主

江戶七十三至九十九 但三川也

● 三宅油守康勝

知行左方之子

富島

中内宮松平左上一心門出女 江戸油屋長小石川 日

和向十三系

江戸

三宅

江戸

● 三宅惣右衛門

江戸至 加茂信政子娘

三宅

江戸

▲ 當山能主三宅出服吉元知流便國次

▲ 若祖三宅氏後守康信元 和元年勢別 兼少ノ為儀主 三宅三子名 同大膳高康 兼日守 一完文同年 同能也吉康時長 号在信子 一三河田系ノ為儀主 同出服吉 康勝親孫乃為儀主 元日守

▲ 三宅家譜一系

源康貞 康信 康成 康時 康勝 康方 康人

康勝

其

其

康方

康人

▲ 當城先主代ノ次

以原年中 戸回彈正左馬助宗光孫

● 戸回彈正左馬助宗光

● 同 彈正忠憲

● 同 左近政光

● 同 彈正左馬助其

彈正左馬助其 男左衛門其子云云 忠次 出妻人依流派今川兼光孫也 忠次 成兵衛後為是列下田之城主云云 石原ノ多次代ニ出テ又為當城主

● 同 出作守吉次

● 同 因幡守忠信

● 同 伴左守忠治

● 三宅能也守康勝

自寛四年 大坂在番死去 是乃直流後主也

同 四 大崎當冲領主

江戸分七十九里

松平總領太素重

大膳高方

知所是乃六子石

赤津平三郎

當勢栲村大坂中門城番



中内松平儀宗當麻
江戸江左衛門 ありふ
同下 百性子
紋本伊方



右、系島志列名松平源以、系島同儀

押方茶 龍元
正方言 龍元

同國 奉母當浦飲主 江戸分八十之里



中多長門守忠利
知方三万石

林 十之五
依治平良



浦内志
江戸江左衛門より三、指儀
同下 本西エツメ、しあ
ありふ

後色百石
おえん
おえん
おえん



浦内志
中多志度
知方三万石

おえん
おえん
おえん

同國 右、系島儀列名松平中多、中多同儀

同國 中多、中多同儀

安能松平信友 知方三万石

同國 信保當浦飲主 江戸分八十之里

中多源正女源忠晴 村上越後守
知方三万石 石川忠房

浦内志 江戸江左衛門 依兼与町
同中下 本中多志度

浦内志 中多父内志 平六
おえん
おえん
おえん

同國 右家系儀列名松平、城主一徳
おえん
おえん
馬

同國 浦部代 知方七百石
江戸左衛門

同國 浦部代官 知方七百石
江戸左衛門

同國 萬年三万石

▲冬列國中神社

尚四ノ中申候也。國多ノ友ニ申候。世以後ノ所書材ノ社候ニ申候。系別縁起不詳。

鹿麻大社

社候。室領形。又莫候也。

▲系社 大己貴尊 尚四ノ一也。

社階 貞觀十二年八月廿八日正五位下。又上同十八年六月八日復位上。 田史

宮中

社候。百廿石。社。鹿麻伴流下。

大野宮

社候。四十三石。社。二ノ一。

八幡宮

社候。五十五石。社。山番刑部。

同社

社候。百廿石。社。古納奴志天。

同社

社候。百廿石。社。竹尾志天。

同社

社候。廿六石。社。賜系。

同社

社候。百廿石。社。

同社

社候。百廿石。社。板倉志天。

同社

社候。廿三石。社。源志天。

六所大社

社候。百廿石。社。大竹大膳。

八面天王宮

社候。廿九石。社。本工志天。

同社

社候。十二石。社。与志天。

同社

社候。十二石。社。甚志天。

同社

社候。十石。社。助市。

社候

社候。十石。社。久志天。

同社

社候。十二石。社。源志天。

同社

社候。十石。社。久志天。

同社

社候。十七石。社。善志天。

吉田天王

社候。廿石。社。仁志天。

能登社

社候。廿石。社。仁志天。

大野社

社候。廿六石。社。八志天。

大門社

社候。廿石。社。仁志天。

外戸社

社候。廿石。社。仁志天。

賀茂大社

社候。百石。社。中志天。

猿投社

社候。百石。社。中志天。

同社

社候。十石。社。

榊井社

社候。五十石。社。九志天。

田山社

社候。百廿石。社。長坂中記。

福前大社

社候。廿石。社。九志天。

下宮社

社候。廿六石。社。安志天。

東照宮

社候。百廿石。

社候

社候。百廿石。

社候

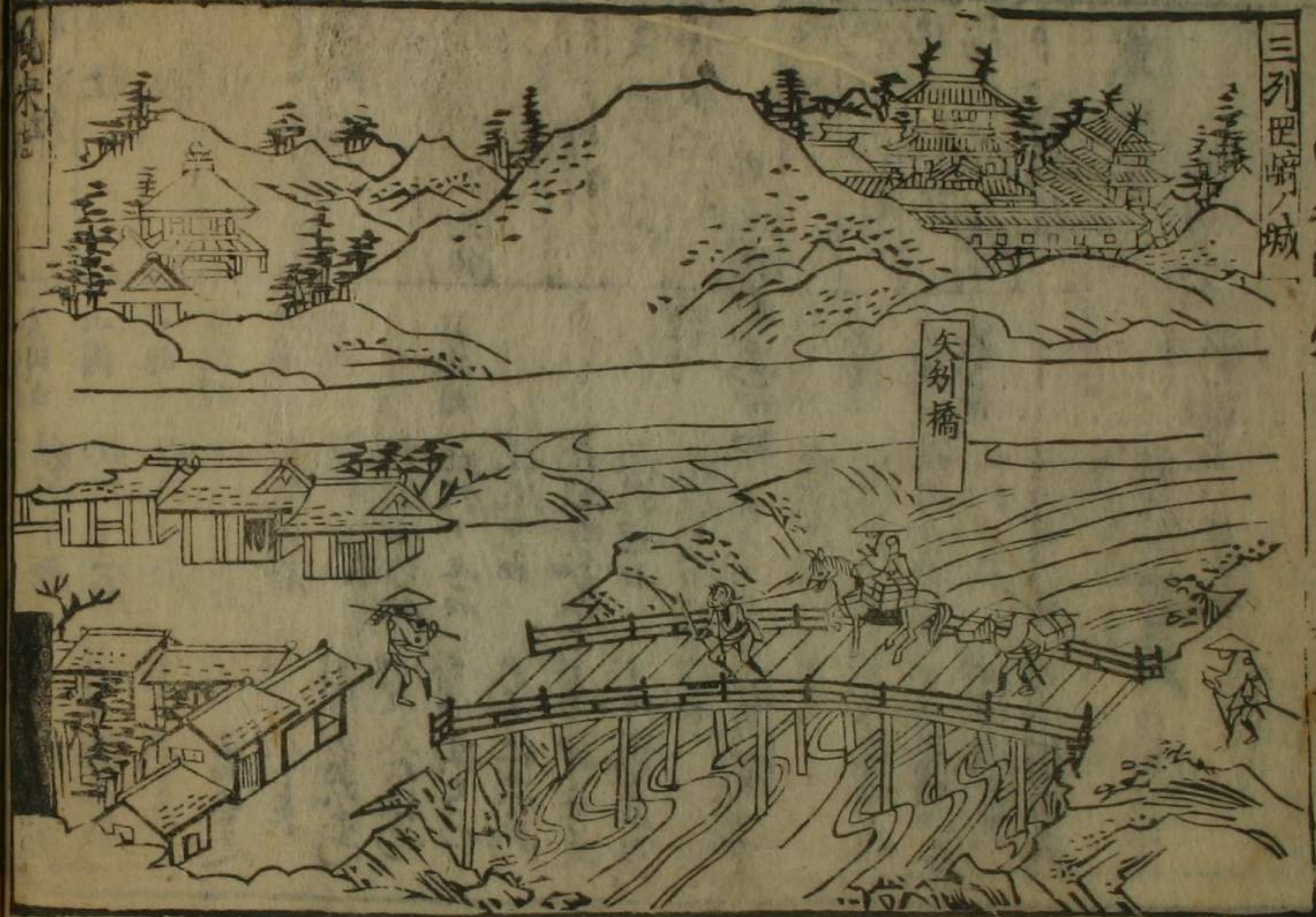
社候。百廿石。

社候

社候。百廿石。

社候

社候。百廿石。



卷列國中流宗佛橋

圖來寺

天台

高山寺

天台

東觀音寺

天台

真福寺

天台

泉福寺

天台

林光寺

天台

富安寺

天台

蓮花寺

天台

長久寺

天台

山宗寺

天台

真相寺

天台

善門寺

天台

心覺院

天台

赤岩寺

天台

慈山院 文永八年 建立用山聖一國原系
後 是利儀氏云再興

東照文社傍

小橋邊

山邊

竹勝

古殿七十四石

古殿十三石

古殿二百八十石

古殿百廿石

古殿二百石

古殿百一十石

古殿百廿石

古殿廿石

古殿二十石

古殿二十石

古殿十六石

古殿廿六石

古殿七十六石

古殿百石

古殿廿六石

古殿卅石

古殿八十石

圓勝寺

源家

吉良三三

古辰十九石

大慈寺

源家

大久保三三

古辰十八石

花山寺

日又源家

長山三三

古辰廿六石

長久寺

源家

長久保

古辰十六石

熱持寺

源家

長久保

古辰廿九石

松葉寺

源家

日所

古辰廿九石

雲雲興寺

源家

中務

古辰百石

長島寺

源家

大久保

古辰百石

金久寺

日又源家

大久保

古辰廿六石

常光寺

源家

大漢

古辰廿四石

林泉寺

源家

長久保

古辰廿四石

勢海寺

源家

長久保

古辰廿四石

勢海院

源家

長久保

古辰廿四石

妙嚴寺

源家

長久保

古辰廿四石

本光寺

源家

長久保

古辰廿四石

懷真寺

源家

長久保

古辰廿四石

大樹寺

源家

長久保

古辰廿四石

大林寺

源家

長久保

古辰廿四石

法慈寺

源家

長久保

古辰廿四石

大舟寺

源家

長久保

古辰百石

松應寺

源家

長久保

古辰百石

高月寺

源家

長久保

古辰百石

万松寺

源家

長久保

古辰百石

光昭寺

源家

長久保

古辰百石

善中寺

源家

長久保

古辰百石

奴長寺

源家

長久保

古辰百石

雲小福寺

源家

長久保

古辰百石

藤松寺

源家

長久保

古辰百石

榎岩寺

源家

長久保

古辰百石

万徳寺

源家

長久保

古辰百石

祇名寺

源家

長久保

古辰百石

一免別名所田流

八橋 居不美和

源のやじ 橋野多杜名

橋野多杜名より長橋乃宿よりちりまの宿
龜部の中より中島より津島乃宿八橋
と云村乃中島より南より水ノ海ノ小川
小島より一より大島あり橋野田角あり
本乃ちのまれば八川海よりと居不美和角
ある昔中島津島乃杜名と云 源のやじ

鹿嶋より別荘の中へおれはるくふら旅し
かり強とふらひてやけに業を仕終るに
吾れ社ありとやまの今におたうの侍
古く名さふらふに旅のつとむとせ
いふらに名をせしむるはとせ

鹿嶋

八橋乃村より三軒往ふあり
長崎乃あり出たれお夫
これ乃川橋をば橋とあへ知く矢代(ヤハ)の里
東にたてあやしたとくを東やとた乃川中
小敷も昔夫をた乃もがけしはわり夫
とた乃里と云目代氏を乃東にあり起り
よりふふたつなりとあつた橋とこれ

宮地山

矢代乃里をたれお白の里
在り川を山いふす名をた後 石蔵
二村山又丹波尾端
又南波(タタラ)ハ神とていひしはり
岩つが 時多 ころり ころり ね葉
水 橋乃村 ともり

夜乃里

曲豆川

今村と云里のあり三河宮の
山乃藤人出り中月山の方山あり
これゆりくとあつた川と三河のそり

細川

四里

花乃山

鹿嶋乃原

志野

夜乃山

あせ山

とらり

細川の岩まはれ球をたつた山の方の麓あり
鹿嶋乃原 鹿嶋乃原 鹿嶋乃原
志野 志野 志野
夜乃山 夜乃山 夜乃山
あせ山 あせ山 あせ山
とらり とらり とらり

このの原

後不集に於り 名不

とやう

名不集に於り

大屋川

大日乃 何れもあかり

素直なる

あや川東に流るる

三つが池

とやう 山にあり

見たり乃池

名不集に於り

夫不美や

池の邊にあり

名不集に於り

名不集に於り

考出す

名不集に於り

名不集に於り

名不集に於り

名不集に於り

名不集に於り

▲冬川分尾川 名不集に於り

名不集に於り

冬川白

冬川二川に二里

乃冬川分尾川 名不集に於り

二川

吉田、二里

名不集に於り

吉田

吉田、二里

名不集に於り

▲小坂井

▲大坂

▲赤坂

▲赤坂

▲赤坂

▲赤坂

▲赤坂

▲赤坂

▲赤坂

▲赤坂

▲赤坂

▲赤坂

尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記

尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記
尾張國中尾物ノ記

干付度長十五年二葉

當御城主 沖伐相續

尾張宰相細誠卿 從三位右衛

沖行六拾壹万九千石

沖麓中

江戸山左衛門長四郎

日中 四葉山門内

日下 山門外

日下 高穴八幡

日下 木引丁築港

成徳軍人正
竹勝後守
日 美濃守
石川大和守
沖城使
林 勘平
真佐才右衛門



内膳

五郎太郎辰

江戸山左衛門町十丁目

當國先河津守

松平茂摩守忠吉

平岩主計弘親吉

尾張大納言義重殿

尾張大納言光友卿

尾張大納言光友卿

是乃當御城主

同國 犬山當御城代 江戸分九十八里

成徳軍人正規 知行

尾張屋山左衛門守家臣

當城先主辰

他田勝三郎信輝

鐵田源三郎勝長

中川勘太忠

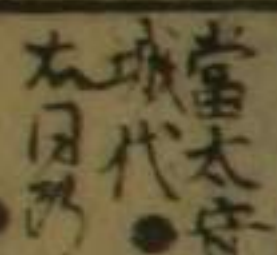
去万勘長彌雅久

是乃四年石田之成徳三依子知行三配入

石川依宗

成徳軍人正成

同 年久西虎 是乃當城代三配



尾列國中神社之類

真清田神社

中鴻部 當國一宮也

祭神

大己貴命 一宮祀

熱田大御神

社領七百十石 延寶初
大文司 九郎丸

社家 主殿 控殿 左京

社傍 如法院 在外社家社傍枝取

▲祭神 一座今六座又天村雲組也

又云當社八日中武尊乃由赤湯也

社名帳云云人皇十二代素戔天孫也

曰乃皇子小碓尊也後小日中武尊也

名く武尊乃齋宿也 大宮ハ日本武尊

東天ハ素盞馬尊 南宮ハ官兼命

西天ハ伴野並尊 小文ハ倉橋命

中央ハ天照太孫也 尾張乃風去祀也

熱田社ハ昔日中武尊東國と平伏也

曆云云是内事一寺村尾張乃速尊

が妻社宮兼命也 聖云云是赤小宮

足り小碓尊也 麻小碓乃小碓小

碓乃小碓と素乃本小碓云云これと

云々此後小入と云々此後云々

此云云これと云々と云々此後云々

光と云々此乃云々と云々此後云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

此後云々と云々此後云々と云々

津嶋神社

威力とありて其故とてい強
威とありてけ國とありて
あつてとてけりく納めりて社ハ
伏見院心無四年二月二日四探す
同山寺小宮社建立之は後教代生
更とてす貞享三年丙寅新小
由建立之新石丸教之西山寺と東
元と勃られ之揚中地乃出之東
兼山乃神靈在之社乃瑞流と云る

海部郡
社領千二百石

神主

社家

祭神

山城之祇園お月

中殿

素盞馬尊

東殿 稲田権

西殿

八王子

社家恒々小宮人皇世代故曰天白皇の
元年己未小宮小來降りて小美又毎
歳山草乃神りて之を八國中度
夜變異書以下據引分志社家
梅乃乃天下乃夜氣候矣とて之を
かふりて推考乃月と示す之牛
頭乃神勇小宮人皇世代故曰天白皇の
社家恒々小宮人皇世代故曰天白皇の

出麻の神

丹波郡

刺栗の神

丹波郡

八幡宮

各儀屋

天神宮

各儀屋

西玉大明神

玉置村

聖宮山神社

丹波郡

東照宮

新山寺 社領千石

尾列國中佛欄大藥

力松寺

持曹洞

天文年中 織田信長が建立

雲光院

何家

各儀屋

泰福寺

律儀家

日所文永年中 室光禪師之

西一國師

丹波郡

大雲院

何家

山田村 本寺以基惠雲禪師開

光陽寺

尼寺

天武天皇御宇 惠雲禪師開

南昌院

律古

中殿 天智天皇御宇 惠雲禪師開

何須尾寺

律古

山岸 二

正妙寺 法堂

寛正年中 日隆上人開

了仙院法堂 倉庫

妙音院法堂 海防

西光寺 一向

本寺安河必了縁上人開
大山二直

安楽寺 一向

鳴海三直本寺親善

俗に世と稱すの故に或はけ親善小
立教の事なるは世と稱すは名なる

尾列國中各所旧記

何波乃の愛

下津と云里乃南小

あり名井く番井とけ處と十里

名井内小あり川又のされま川丸

云け下り下津と云里乃南小

ふ道と云のたき かの奈の

なまき 町 藤 藤 紅葉 木 根

ありそ乃

この奈の

子き 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

の火 森 森 森 森 森 森

下津乃

下津乃

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

鳴海

英虞府 龜形 内一級

知行高三万七千八百四拾石

風去紀云志麻の地名也伊勢橋乃高
より地と致く海中ニあり行は後小國
乃名とあり

志列高相當城至 每石百十四リ東海乃野打
二万ヨリノニ五七十九リ下

松平源次郎兼長

知行六万石



内内室土屋相模守
江戸市在赤井田橋内
同中 八丁堀 浅川
同下 中庄三ツ又三ツ



馬 馬

松平源次郎兼長知行四萬石

由是松平如泉守兼長慶長六年八月
濃國岩村ニ為石三万石 同和泉守兼
長慶長十五年并知行四萬石

倉六人 六万石 延寶六年同和泉守
兼長肥前國唐津一萬石 同和泉守
兼長肥前守長知行三万石 同和泉守
兼長知行三万石 同和泉守

右松平氏系

源親乘 和泉守 真乘 右近 家乘 和泉守 乘壽 和泉守

真次 繼頭 乘重 繼頭 其 類母

乘久 和泉守 乘昌 官内火輔 松平下總守名跡上成

乘春 和泉守 乘長 源次郎

乘政 石川兼作 母方氏 乘起 美作守

當城先主代々

丸鬼大隅守喜隆 五万石

同 長門守守隆 三万石

同 嚴修守忠隆 同石

同 飛騨守忠隆 同石 同石 延寶八年死

出井周防守益利 七万石 是乃當津城至 至

志列神社之社

俣村波大の社

長志社破社屋と郷

社司 中長官 願古長官

右外 俣村 社僧 三々

祭神 俣勢内宮より下ニ入り

所謂俣勢 長官なり

藤原神社

俣勢志平支那し地ニ立

或人の云揚回表乃命と云云 縁起不詳

富士権現

浦村ニ立 縁起不詳

成庵寺

景判田基 義定和尚と云々

志列ノ名所四條

麻生乃浦

戸羽城下より辰巳の

名所ニ麻生乃浦乃破社に権現乃

あり云々乃 系地なり

地縁の縁と云々乃 系地なり

斤技乃架

川の上の地乃 系地なり

かろぬ由も

かろぬ由 猿石

右ノ分ニカカ乃海乃名所

安太子乃溪

西白根と云々乃戸羽の城下

より南にあり海乃名所

あしは浦

名所乃浦乃 系地なり

つらな寄

つらな寄 名所乃浦乃 系地なり

あかりそ 名所乃浦乃 系地なり

船はり舟 名所乃浦乃 系地なり

志列名物出所之類

藤原 俣勢 同位 俣村

井貝 名所乃浦乃 系地なり

和布 名所乃浦乃 系地なり

右志度國分以上

大日本東海道 十六ヶ國の内

伊勢國 勢別

大後十六郡あり小三日
余山海平均あり余別
小勢より仍て國の親より去る
多し一と稱す百餘のたへ上國也
田数は五九千廿四町

桑名 桑名 於麻 志志 廣徳

桑名 桑名 於麻 志志 廣徳

桑名 桑名 於麻 志志 廣徳

知行高共拾七方二千七百十六石

昔伊勢津彦乃神ありて此國を以
引のまを名にしりて國乃号と云
天日別命天照太神乃物と云けて此
入のひと云ふ國と天孫小孫れり
時神をもちて別と云ふなり
小おをれりなりなりなりなりなり
志なりなりなりなりなりなりなり
老なりなりなりなりなりなりなり
なりなりなりなりなりなりなり

當國桑名之城

惣て伊勢國八國曰北畠代なり
仍て國中に城被一城也

當郡城名

松平越中守定重

知行十一万石
城内倉小松中納言
江戸内倉八町
同中 倉
同下 倉

東郡内倉大倉通六角上町
日吳郡所 油小倉の川上
かろりり

松平因幡守



松平三郎助



△松平越中守定重先知此後國之次第
 △市光松平隱岐守定勝三男松平越中守
 定勝先和三年在列金山川之西城之三方石
 定勝又定勝之弟
 △元和九年同山城國院之西
 城之三方石
 △寛永十年同英法國大
 垣之為城主之方石
 △寛永十二年同勢別
 業名之為城主之方石
 △同越中守定重
 同越中守定重之續為高田城主 同也

△當城先主代々之次第

氏家内膳正

- 中多中督左衛門忠勝 (十二万石 寛永五年)
- 同 美濃守 忠政 (同也)
- 松平隠岐守 定勝 (十一万石 元和三年)
- 同 隠岐守 定形 (同也)
- 松平越中守 定徳 (十一万石 寛永十二年)
- 同 播磨守 定良 (同也)

是方高田城至三石

● 同 松山當沖城主 (江戸分百三石)

松倉周防守重冬

江戸松倉守重冬
 江戸松倉守重冬
 同中 本引丁二丁ノ

松倉本主方
 松倉本主方
 松倉本主方

二丁九丁ノ也

△松倉周防守重冬先知此後國之次第

△此先松倉守重冬先知此後國之次第
 為此守重冬
 △同周防守重冬先知此後國之次第
 自五万石
 △同周防守重冬先知此後國之次第
 同周防守重冬先知此後國之次第
 同周防守重冬先知此後國之次第

△右松倉家一系

源勝重	重宗	重卿	重常
重昌	重知	重形	重同
重直	重良	重相	重清
女子	女子	女子	女子
重長	重通	重冬	

△當城先主代々之次第

- 長門守一政 (三万石)
- 長門守一政 (三万石)

江戸松倉守重冬

- 松平中兵衛清匡 (五万石 幕府十三年) (元和元 播磨大津守)
- 三宅越後守康信 (一万二千石 元和元年)
- 同 大膳亮康盛 (同前)
- 本多中兵衛清俊 (五万石 享和十三年) (安永四 江外世) 本形
- 石川重敏 昌勝 (五万石 享和四年) (安永九 山城) 中野
- 外之方石川清信守康 (外七万石 上野)
- 河波守 三子石川市正 (同前)
- 板倉辰政守重常 (五万石 寛文五年)
- 是乃直城 (三万石)

同國 津 安濃 當沖山城

藤堂和泉守高久 (三万石)

近内室瀨井河内守妹 江戸此屋敷向柳 月下 赤井 系取山屋敷堀川通津小治上町 最上居安治忠系

大坂屋敷 天保川崎下 菊五居七里勘十 同名代 天保三 柳冬島 此上居三

藤堂大家次高近 (四品)

山内室小室原系江守康 江戸此屋敷 丹波所京都中兵衛 小川 菱屋長兵衛 同 善兵衛

▲ 友堂和泉守高久 元和清任國次 此先友堂和泉守高久 天正末 戶田 民部女御 後 輝与國次 和信 為 並 從 主 ▲ 此友堂和泉守世 以 後 同 今 治 為 城 主 三 万 石 ▲ 同 大 學 以 高 次 同 和 泉 守 高 久 和 後 為 當 沖 城 主 同 高

右友堂家内系

藤原高虎 (和泉守) 高次 (大守) 女子 (三入) 高久 (和泉守) 女子 (三入) 高近 (大守) 女子 (三入)

高通 (在渡守) 某 (学助) 某 (大助) 某 (圖書) 某 (圖書)

▲ 當田城先主代々 天正十一年

高田信康守 藤堂和泉守高虎 (三万石 幕府十三年)

内旁石元和元年加増
能成列和列等抄写
五方石同三年

日 大學以高次
任内五方石由二男作後吉通
三石石由三男 吉通所分
石見方由由城主 五

同國 松波領 宇方

紀列當沖領分 元和五年ヨリ

▲當領先主

古田兵部少輔重勝 五方石由内二方石
同 大膳大史吉治 同吉
石見後田所勢

同國田丸領 如方

紀列當沖領分 元和五年

▲當領先主

福兼薩人道道 四万五方石

同 淡海寺紀通 同吉
同國 長鴻當領分 江戸分九十五里

同國 松平依波守忠亮 吉田久盛
如行在方石 白井源兼

松平依波守忠亮

内内室松平長後守殿
江戸小倉家 常盤橋内
同中 下二田左川丁
今年の切



松平石見守

川合源次郎

▲松平依波守忠亮知所任國次
系出三康光引リ
天正十八年下総國國府
▲元和二年同甲斐守忠亮
▲寛永元年同因幡守
▲寛永二年同作浪守良尚
同依波守忠亮如波為忠亮
同吉

▲松平忠亮流系

源康光 廣忠公之御息所
忠良 甲斐守
延良 因幡守 忠節 采女正
女子六人 毛利甲斐守室
女子二人 松平右衛門佐室
良尚 作浪守 元尚 長門守
女子二人 植村大膳室
女子二人 松平出羽守室

忠亮 佐渡守 某 鞆負
某 小十郎 石見守

羽柴備後守室 大須賀出羽室
世部内膳室 津窪越中守室

某 主水

某 主水

某 主水

某 主水

某 主水

▲當城先主代
 織田信雄持命
 關平次辰之
 永祿十二年以迄

● 福壽掃部助

二百石 享和六年

● 若原藏部左衛門

同高

● 志摩守定仍

同高

● 織部左衛門

同高

● 松平源政守定勝

七十石 享和六年

● 同 英化守定房

同高

● 松平健宅守定政

同高

● 松平作左衛門

同高

同國 神戶當城主 江戸台一里半

石川近江守延義

牧野甚五郎
 奥山小一

如外 幸乃七千石

江戸台石川台



江戸台石川台



江戸台石川台

▲右系島八山城國後城主一系

▲當城先主代

音石 永祿十二年以迄

● 織田三士郎信春

音石 永祿十二年以迄

● 漆川左近將監一益

音石 永祿十二年以迄

● 一柳監物 貞登

音石 享安五年

● 石川攝摩守長

音石 享安五年

● 同 若後守長良

音石 享安五年

同國 久居水城主 江戸台又里半

藤堂依波守高道

藤堂 永祿七年

知新五万石

藤堂 永祿七年

江戸台石川台

藤堂 永祿七年

同下

藤堂 永祿七年

同國 江戸台石川台

同國 江戸台石川台

同國 江戸台石川台

同國 江戸台石川台

此内宮者又雄氏女流
即平内宮也 ありあけ
同中 内下ありあけ

後色仁系
勢清氏系



雄氏
古方木子 助豊子

馬

一は是古方物系雄氏之 後号河内守
天正十二年尾列六山 為城主 四百五石
安長四年石田才次 依於配所竹之

▲右古方家系也

源雄久

河内守

雄重

河内守

雄次

河内守

雄直

出城守

雄氏

陸奥

雄豊

備前守

豊高

本助

其

女子

幸佐渡室

其

女子

水野

女歌室

同國清那代



長祿遠河守
三千石
河内守 ありあけ八丁あり

山後科 三百石
ありあけ十六人

同國清代官

同國清代官

松尾清那代

保勢國中大小神社之類

内宮

保勢兩大神宮

保勢文領四方二千石 由三方七千石

内宮 八十末社
外宮 四十末社

内宮祭主

中川忠官

外宮祭主

中川忠官

右二人言宮勤役以外一は孫官

正孫五人 陣陣 春木忠之

兼人 以外由陣社人担任

内宮祭神由三座

相殿神

天照皇左神

天守力能神

天照皇右神

大月靈貴

保代一祝と云ふは保代神也
曰吾宮之御座也
と猶もあつたなり
此物はひそく別
大月靈貴と備へて
集法也



▲天照大神... 奥院を拓多のく
 授く... 吾兒... 鏡... 見... せん
 吾と... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
 ... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
 ... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
 ... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
 ... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
 ... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...
 ... 乃... 乃... 乃... 乃... 乃...

日成九年 壬戌 丹波吉原... 四年
 日甲十三年 丙寅 又和... 八年
 日甲十一年 甲戌 紀伊... 三年
 日甲四年 丁丑 吉原... 四年
 日甲八年 辛巳 又和... 二年
 日甲四年 丁亥 任... 二年
 日甲十一年 己丑 任... 四年
 日甲四年 乙未 任... 四年
 日甲八年 己亥 任... 二年
 日甲十年 辛丑 任... 四年
 日甲四年 丁丑 任... 四年
 日甲十年 辛丑 任... 四年
 日甲四年 丁丑 任... 四年

日甲四年 丁丑 任... 二年
 日甲十年 辛丑 任... 四年
 日甲四年 丁丑 任... 四年

日十四年乙巳 伊勢皇孫皇代文敏四年

以時大君命 伊勢皇子命社(イセ)

日十年 巳酉 阿加美方所延(イセ)

日廿年 癸巳 飯野宮遷(イセ)

日廿六年 丙辰 伊藤宮遷(イセ)

今乃内文伴勢度去初之治柳(イセ)

上亦更修久しく(イセ)

志亦倭非命小海く(イセ)

伊勢國八常世乃波乃(イセ)

倭國乃亦(イセ)

改小亦林乃(イセ)

小立國く(イセ)

これと(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

伊勢皇孫皇代文敏四年

伊勢皇子命社(イセ)

阿加美方所延(イセ)

飯野宮遷(イセ)

伊藤宮遷(イセ)

治柳(イセ)

伊勢國八常世乃波乃(イセ)

倭國乃亦(イセ)

改小亦林乃(イセ)

小立國く(イセ)

これと(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

伊勢皇孫皇代文敏四年

伊勢皇子命社(イセ)

阿加美方所延(イセ)

飯野宮遷(イセ)

伊藤宮遷(イセ)

治柳(イセ)

伊勢國八常世乃波乃(イセ)

倭國乃亦(イセ)

改小亦林乃(イセ)

小立國く(イセ)

これと(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

乃(イセ)

魯いよはむれ其いふ形人いふ其いふ形せく、西乃
倭報官 伊波登美神 志乃谷志乃伊報村

天牟羅雲命 天波多命 倭姫世祀心 主社屋姫命 是伊羅官也 建日別命

浸官 朝熊宮又櫻官也 俗三阿依本と云是也

奈神六座 一覽二案ニ世紀ニ云 櫛玉命 櫻大乃神 櫻花木坐

菅虫神 石座 大山越神 石座 朝熊水神 石座

空鏡二面 日月ノ所化 白胡鏡とれなり

社祀ニ云 約集ノ水神ハ倭姫命ノ石凝蛇
ノ神ノ所乃湯治云々乃八室獲 依座

乃陽に獲乃えれたり 山ノ西

浸官 伊波登美神 龍宮城ノ申ス

乃物もほ小依文と云 倭姫云々乃依文
又字活乃核云と云 色い文のいなり

天藏神社 志乃谷志乃伊報村
神ノ女神大前姫と云 伊神天と小阿乃
天照乃神乃他也 小田田天の校回也
田に福穂と云と云 下界小なア云云
直櫻乃引小云 采の種 此れは伊神也
又云 伊神白雲焼く 依く 志摩云云
志乃伊報乃草 依座云 依座云
依座云 依座云 依座云 依座云
乃神云 此れは倭姫命 此れは伊神也
云 依座云 依座云 依座云 依座云
一境 倭姫命 世祀 是 伊神云 伊神云
と云 依座云 依座云 依座云 依座云

浸官 伊波登美神 龍宮城ノ申ス

乃物もほ小依文と云 倭姫云々乃依文
又字活乃核云と云 色い文のいなり

天藏神社 志乃谷志乃伊報村
神ノ女神大前姫と云 伊神天と小阿乃
天照乃神乃他也 小田田天の校回也
田に福穂と云と云 下界小なア云云
直櫻乃引小云 采の種 此れは伊神也
又云 伊神白雲焼く 依く 志摩云云
志乃伊報乃草 依座云 依座云
依座云 依座云 依座云 依座云
乃神云 此れは倭姫命 此れは伊神也
云 依座云 依座云 依座云 依座云
一境 倭姫命 世祀 是 伊神云 伊神云
と云 依座云 依座云 依座云 依座云

天藏神社 志乃谷志乃伊報村

乃物もほ小依文と云 倭姫云々乃依文
又字活乃核云と云 色い文のいなり

天藏神社 志乃谷志乃伊報村

乃物もほ小依文と云 倭姫云々乃依文
又字活乃核云と云 色い文のいなり

天藏神社 志乃谷志乃伊報村

乃物もほ小依文と云 倭姫云々乃依文
又字活乃核云と云 色い文のいなり

天藏神社 志乃谷志乃伊報村

乃物もほ小依文と云 倭姫云々乃依文
又字活乃核云と云 色い文のいなり

天思意命乃妹
天津彦彦火瓊杵尊
天孫降臨此乃
中津國乃

天光命
余の女辨登皇孫麻呂
命とありて
長原氏乃
天孫降臨此乃
中津國乃

天志命
天思意命乃
天皇皇孫皇孫
於之
中津國乃

多賀宮

傳乃
多賀宮
所僧大威神
右鏡

出神社林
大車社乃
大治三年六月

乃
乃
乃

乃
乃
乃

月讀宮

風宮

林傳乃
社記云
乃
乃

天村重命一應

天那命一應

天那命

多利宮社

山田乃
右鏡
山田乃
右鏡
山田乃
右鏡
山田乃
右鏡
山田乃
右鏡

高社 宗社 社記并ニ非系号
小云高社の神急命八世乃孫建日
別命伊神傳大 乃孫社ハ大己
貴命乃子健命乃命ニ又健西方
命又健命乃命ナリ

大國玉路社

祭神 二生 大己貴命一坐 依之良水
命一坐 一坐 愚孫 大國玉乃利大己
貴命乃別名ニ 大物主神大國玉
神又國玉神トシ 秘祭有ニ神号
用神是名ナリ 乃子凡テ 一百廿一神トシ
日本心崇奉命乃命ニ
夜之良水命 乃考

大間社

祭神 二座 東大間社西國光社
▲社記 秘宜神神抄 所謂大若子命兄
乙若子命弟也 天照中皇孫十九世孫
父ハ天照太孫命トナリ 弟ハ素戔嗚尊
仲孫ハ三代ニ住マシム 素戔嗚尊乃
宇北狄速流乃貴小乃門ノ大幡主
命トシ 乃天照太孫神孫座乃社記
大間社乃之社也

小俣社

祭神 一坐 大己貴命 社記ニ云湯田御
小俣村小俣乃社一坐 專大俣社
▲社記 實神神抄 乃考乃社記

栴田社

祭神 大若子命一坐 乃考乃社記
栴田社 乃考乃社記

星川社

祭神 一坐 大己貴命 乃考乃社記
星川社 乃考乃社記

終麻社

祭神 一坐 大己貴命 乃考乃社記
終麻社 乃考乃社記

尾上社

祭神 一坐 大己貴命 乃考乃社記
尾上社 乃考乃社記

無宮

祭神 一坐 大己貴命 乃考乃社記
無宮 乃考乃社記

尾上社

祭神 一坐 大己貴命 乃考乃社記
尾上社 乃考乃社記

無宮

祭神 一坐 大己貴命 乃考乃社記
無宮 乃考乃社記

無宮

祭神 一坐 大己貴命 乃考乃社記
無宮 乃考乃社記

一乃多井之せんといふ所門也其の
さる所乃其のと云ふは其の中
一なる之宮乃古名小社至之
まといふる本社乃其めりし
市あり給るし其本社のうり
其地せん之れ其去のそを
本社之そ亦いふ小社之山乃
云ありは亦より天乃若きん
若き乃おお古本乃橋ありは
祇園乃井と云ふ是の國と云
友を非宮入さし其の社神
と云ふ若き乃上其方の高
まろはは其の社神なり其
かるに十八乃坂をいふに
物と云ふ高まろはは小社
大坂場小坂場市原が若き
小坂板坂大坂板鞠蹴場なる
坂乃其坂下は乃の方に荒
と云ふあり 神宮高神宮神
大悪乃其あり 大國玉社 其方
大井其乃其彼田あり是乃
乃其程四十八町あり其り

て内其へありは其本乃町と云
雲ありは町と云ふは其橋と
其人と通さぬ橋と云ふは乃
乃井と云ふは乃の妙見山と
見町左方に妙見乃其と云
此御前乃乃其りは乃の二
乃と云ふ河は乃の乃の橋
お松お玉おと云ふ乃の乃
深美物と云ふは乃の乃の
籠と云ふは乃の乃の乃の
練小橋と云ふは乃の乃の
と云ふ其乃の乃の乃の乃
乃松と云ふは乃の乃の乃
地蔵町へかへは乃の乃の
あやほり乃の乃の乃の乃
坂乃其乃乃乃乃乃乃乃乃
町は乃の乃の乃の乃の乃
と云ふ乃の乃の乃の乃の
乃の乃の乃の乃の乃の乃
ありは乃の乃の乃の乃の
乃の乃の乃の乃の乃の乃

乃の乃の乃の乃の乃の乃

左方に山神と云ふを尊より神皇正統記のた
 わり橋と云ふに所記とて内宮一乃多
 井と云ふ神乃由門也んさうの由の様
 ともひとてさ由門と云ふも中く由と云ふ
 かり八十木社とてめらひに由候候とてこれ
 之をこれゆつてさそりて言はま去乃又凡の言
 ことくま由すこと外に言ふ小社あり凡言
 つ神志の由に由候候と云ふに及中く由思
 委を由かごうと云ひありん十二様つあり
 由もさ由りて言ふ格を凡乃言へり
 又右に神乃此由候候り又山の神の言
 めりりりりくと右へ候候候候候候候候候候候
 山田より三里八所と云ふ上九八所
 乃山の神乃此奉乃ことくさう人四十八所
 け乃に若狭の神と云ふ言ふ神皇乃奉
 履を至靈宮乃おふ進珠乃池とて常に
 由りりる由る言ふ山おふ言ふ神乃此
 由りりる由る言ふ山おふ言ふ神乃此
 合所と云ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ
 合所と云ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ

合所と云ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ

右方山小神氏左方山系約のさ力わり又
 おさ山小神氏と云ふ名物なり

右神左不乃外國中ノ神社

春日大明神

社後石取別佛賑与

田村神社

社後田村宮字云々

八幡宮

社後八幡宮と云々

牟礼大明神

社後牟礼大明神と云々

額田神社

社後額田神社と云々

野尻大明神

社後野尻大明神と云々

右社ノ神社ハ神社一萬ニ編ナリハ由大社
 云々と云ふは社ニ社ニ社ニ社ニ社ニ社ニ社ニ社ニ社
 社と云ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ
 倭姫命の神と云ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ
 言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ
 今乃由云々言川上言川下言川中言川下言川下
 二年四年言川上言川下言川中言川下言川下
 法皇と云ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ
 と云ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ

東國神社

東國三社

上之神社

下之神社 小之神社

小山神社

此社ハ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ言ふ

此社乃大石を古田氏刻とて置り合ふと

勢列三内法宗佛國と教

朝熊山

古殿 無家 金剛勝寺 百石
同 去云 法王院 寺石

用山弘法大師 宗廟とての王院と号す
其後西元和尙登山して一寺と建立す
金剛勝寺と名づく 興院 本寺 勝軍
地蔵 前立 座 堂 堂 堂 堂 堂 堂
古社 帳 二 京 中 漢 古 派 古 派 古 派
物 熊 乃 社 社 院 宮 古 古 古 古 古 古
注 記 又 又 連 珠 池 乃 乃 乃 乃 乃 乃

常妙寺

禪宗 傳
後 去 邪 三 苗 古 井 願 小

地蔵堂

西 今 井 之 西 古 古 古 古 古 古
之 乃 境 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三

妙光院

甚 尼 所 同 所 儀 乃 寺 亭 云 古 殿 五 百 石

大宝院

真 言 古 殿 百 石

密嚴院

禪 宗 松 山 亦 福 古 未 古 古 殿 百 四 石

不動院

真 言 度 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
言 上 古 勝 法 法 法 法 法 法 法 法 法 法

中禪寺

禪 宗 同 所 安 法 法 法 法 法 法 法 法 法 法

一身田

一向 宗 安 法 法 法 法 法 法 法 法 法 法

云云光院

一向 宗 佛 寺 村

林泉寺

傳 古 安 法 法 法 法 法 法 法 法 法 法

安養寺

禪 宗 佛 通 和 尙 用 基 也 亦 不 明 星 弟 尼 古

弘法大師

丹 生 三 三 入 定 の 弟 尼 古

伴勢寺

毎 年 三 月 廿 二 日 由 教 傳 三 師 教 七 寺 入 身 古

長源寺

天 宗 安 法 法 法 法 法 法 法 法 法 法

本寺十二面觀音 傳教大師 他由長三尺三寸庵
乃雲抱樹之儀 傳古 亦古 乃伴勢寺
乃乃物徳と云る 亦古 乃昔月 向西の
唯乳六月 中旬 乳此 乃堂 乃乃 乃乃
又古 亦古 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃
人 奉りて 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃
いせ 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃
あり 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃
も 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃
て 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃
も 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃
乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃 乃乃

入りて各本國へゆりあつた時あり
けしと二河内堂と云傳つてといはれり
乃ち兼和集小舟の終りせりされ
少きありのけしは終りて空ゆ

高亮院 浄土 兼名殿 **淨福寺** 浄土 同所凡左
暖峨天皇
弘仁年中立

佛のの耐け所のいまご山中ありけり
多に光の如くおぼれは法障け光の如く
君をのみは石佛山中ありて光を照り
多りてあり小十二神乃佛あり恭法如の
茶師乃其地と云ひ別を石の茶師
乃佛と云き多りとい故に金福あり
出さる石佛なりといり

塩干地蔵 相田村 三 弘法大師の地

皆大師のいと多き世の耐城といふ
佛を多く別障ありて多し出来は世に
として云ひ乃地蔵といふと云るや
如天燈源神前 井上初書

徳日山観音 安徳源 本寺観音
十月日 九ふ礼を十日の末文唯礼解集
具へ何外地如兼 天照太神の地他
毎月十九日開帳

松雲茶寺 安徳源 兵衛上人開基

西天寺 昇 城まき 菩提所

西光寺 本寺茶師如兼

洞雲院 同所

地蔵堂 同所

和南開眼 同所

大房寺 同所

中徳寺 同所

妙光寺 同所

法達寺 同所

淨福寺 同所

勢別四郡名所古伝

後撰 山 坂乃下より云山人の地あり
山 坂乃下より云山人の地あり
後撰 山 坂乃下より云山人の地あり
山 坂乃下より云山人の地あり
後撰 山 坂乃下より云山人の地あり
山 坂乃下より云山人の地あり
後撰 山 坂乃下より云山人の地あり
山 坂乃下より云山人の地あり

三井 十別所産の石を以て築いた三井のあり

いそりの三井 名東 山ののり

とりの三井 名東 雲のり

はくの三井 名東 雲のり

山ののり三井 名東 雲のり

信勢乃海 名東 雲のり

名東 雲のり

名東 雲のり

名東 雲のり

名東 雲のり

名東 雲のり

名東 雲のり

名東 雲のり

名東 雲のり

伊加賀之國 南宮大明神



伊加賀之國

車乃雲

小野

川口の雲

名素雲の雲垣

雲の打雲

くまの雲

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

くまの雲

龍乃雲

名素雲の雲垣

・後堂大学及高次 坊分 當院皇者列在二
 乞下當院皇二云

▲當國流那神社之社

敵國社

何縣社

祭社 一座

金山夷社

當國

一宮也 ▲伴紫冉弓大社 柳遇突

智と皇孫の八々方時向懸懐賜因之
 滋吐二九社之社名也 金山夷社
 P. 149 日本紀

貞觀九年十月五日從五位下敵國社 國史

八幡宮

伊勢列

同社

川根村

小村の社

名法於小村ニ立

當社名

大己貴乃乃 齋法後冷泉院 永兼年中立
 山下ニ立

権現宮

上野

千次天皇

系系爲今

▲月國佛觀

茶師堂

松原村

清光院 津云

西鴨川邑

威度寺

曹洞

山田社

兼和年中開山也 天和尚

好樂寺

津云

権現立

本号弘法 仍基依
 町尾村 本号三月日他天張之

龍岩堂

當國名所之社

當國のさうて居下ありと居寄ありとあり
 今乃皇初より高海及乃吹海ありと居寄
 且下ありとありと居寄ありとありとあり

惟其森

小教受て推之れ森乃時香居のり存てとあり

衣其森

各寄の社に居の森乃時香居のり存てとあり

衣乃森

森乃森其あり

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

衣乃森

衣乃森の森乃森其あり

